### **1) kruel /** 酷 **/** 「酷」には「残酷」「酷刑」など“酷い”ニュアンスがあり、日本語話者にも意味が伝わりやすい **/** 既出文字との重複はないが、画数は多すぎず妥当

### 2) amar / 苦 / 「苦」は「苦い」「苦痛」などに用いられ、日本語・中国語ともに“苦味”を連想しやすい / 画数は比較的少なめで扱いやすい

### 3) diskret / 谨 / 「谨」(※「谨慎」の“谨”)は「慎み深い・用心深い」の意を持ち、“口が堅い”ニュアンスに近い / 画数はやや多めだが単字で要旨を表現できる

### 4) obtuz / 钝 / 「钝」(旧字体「鈍」)は“刃物などが鈍い”ほか“頭の回転が鈍い”にも用いられ、日本語圏にも比較的通じる / 偏旁「钅」は金属関連字として既出のものと重複しないが、画数は少なめ

### 5) impertinent / 傲 / 「傲」は“傲慢”“傲岸不遜”のように“厚かましい・失礼”に近い意味合いを持つ / “心”偏などは含まないが、人偏+敖の組み合わせで覚えやすい

### 6) sakr / 骶 / 解剖学用語「骶骨(dǐ gǔ)」の「骶」。医学用語としてはややマイナーだが正式用字 / 日本語では馴染みが薄い可能性が高く、必要に応じ熟語「骶骨」としても可

### 7) fanfaron / 夸 / 「夸」(旧字体「誇」)は“誇る”“自慢する”の意に通じる。中国語「夸奖(ほめる)」などで使用 / 画数が少なく、応用もしやすい

### 8) klaĉ / 闲话 / 直訳すると“暇話(ヒマばなし)”で“雑談・悪口・噂話”のニュアンスがある / 単字で“ゴシップ”に相当する語が乏しく、2文字熟語での提案。既出偏旁「门(門)」「讠(言)」との重複活用が可能

### 9) bru / 吵 / 「吵」は“うるさい・騒がしい”を意味し、中国語では「吵闹(騒ぐ)」などで用いられる / 口偏で音声・騒音のイメージが取りやすい

### 10) tumult / 乱 / 「乱」(日本語でも“乱れる・混乱”など)は“騒動・騒乱”にも近く、単字で「紛乱・混乱」を表せる / 画数(7画)が少なく学習負担が比較的低い

### 11) distr / 娱 / 「娱」(繁体「娛」)は“娯楽する”“楽しませる”の意。気を散らして気晴らしをするニュアンスに近い / 女偏+吾(五)で構成され、画数は中程度

### 12) sufok / 闷 / 「闷」(繁体「悶」)は“息苦しい・窒息しそう”な状態を表し、“閉じこめられて苦しい”ニュアンスに合う / 既に出た「门(門)」偏を再活用でき、学習コストを低減

### 13) naŭz / 呕 / 「呕」(繁体「嘔」)は“吐く・嘔吐する”意味合い。悪心・吐き気全般に近い / 口偏で“口から出る動作”をイメージしやすい

### 14) ted / 厌 / 「厌」は“うんざりする・嫌になる”に対応し、“厭う”として日本語にも通じる / 偏旁を大きく増やさずに使いやすい

### 15) ĉagren / 烦 / 「烦」(繁体「煩」)は“煩わしい・いらだたせる”の意味で、“心配・悩み・イライラ”などに近い / 「火(灬)」+「页」で構成されるが、中国語で“烦恼”の形も覚えやすい

### 16) haladz / 臭 / 「臭」は“くさい”意味で、日本語でも“臭い(におい)”に直結 / 単字で分かりやすく、画数も多くない

### 17) furioz / 狂 / 「狂」は“激しく狂う”の意で、怒り狂うニュアンスにも近い / 犭(けものへん)+王(おう)の組み合わせで覚えやすい

### 18) koler / 怒 / 「怒」は“怒る”そのものの意味。日本語でも“怒(いか)る”に通じる / 心情を表す字として学習しやすい

### 19) indign / 愤 / 「愤」(繁体「憤」)は“憤慨する・激怒する・腹を立てる”で、「愤怒」としても使われる / 忄(りっしんべん)+分(わける)で構成され、中国語では“愤慨”“愤怒”など頻出

### 20) ofend / 辱 / 「辱」は“侮辱・恥をかかせる”の意。“侮辱”の後半にあたり、相手を傷つけるイメージ / “辱める”として日本語にも存在し、画数も極端には多くない

### 21) blasfem / 亵 / 「亵」(繁体「褻」)は“冒涜(ぼうとく)・軽んじる”の意。中国語「亵渎」(亵+渎)で“神聖を汚す”意味 / 単字でややマイナーだが、宗教的冒涜のニュアンスは適合

### 22) kalumni / 诽 / 「诽」(繁体「誹」)は“誹謗”の前半で、“中傷・悪口”を指す。中国語では「诽谤(誹謗)」としてまとまった意味 / 讠(言へん)で“言葉による攻撃”を連想しやすい

### 23) riproĉ / 责 / 「责」(繁体「責」)は“責める・とがめる”で、日本語でも“責める”を連想できる / 讠へんでなく“贝”偏(貝)を含むが、画数は少なく使いやすい

### 24) mok / 讥 / 「讥」(繁体「譏」)は“あざける・からかう”意を持ち、“嘲笑”よりもさらに簡略化 / 讠(言へん)の組み合わせで“言葉による嘲り”を表現

### 25) insult / 辱 / 「辱」を再利用して“罵る・侮辱する”をカバー。中国語「骂」と近いが、“侮辱”全般に通じるニュアンス / ofend と同じ字を使い回し、総字数削減に貢献

abomen / 厌 / 「嫌う・嫌悪する」の意。簡体字「厌」は日本語の「厭(いと)う」「嫌(いや)がる」に近い感覚で、「嫌悪」も連想しやすい。 / 画数少(7画)で使いやすい。

* ĵaluz / 妒 / 「嫉妬・やきもち」を表す単字。「嫉妒(しっと)」の後半文字で、こちらがやや画数少(8画)。 / 新出漢字。
* envi / 羡 / 「うらやむ」「うらやましい」を表す単字。「羡慕(うらやむ)」の前半文字で、ポジティブ寄りの「羨望」を連想しやすい。 / 新出漢字(8画)。
* fajl / 锉 / やすり(工具)で削る意。「锉刀(やすり)」の「锉」。 / 「金偏(钅)」＋「坐」の組み合わせで若干画数(8～9画)はあるが、他に適字が少ない。
* torn / 车 / 旋盤(＝车床)で回転削りする意。中国語では「车(動詞)」が「旋盤加工する」意味で通じる。 / 既にお馴染みの「車」の簡体字。画数4画。
* glad / 烫 / アイロンをかける。「烫衣服(服をアイロンがけする)」という表現がある。 / 画数10画。以後「パーマをかける」「熱湯をかける」にも再利用。
* drapir / 披 / 布などを「覆う・かける」を単字で表せるものとして、肩に羽織るイメージの「披」を採用。 / 画数8画。比較的形も覚えやすい。
* kov / 孵 / (卵を)抱く、孵化させる意。中国語で「孵(化)」は卵をかえす意味で広く使われる。 / 画数9画。
* jung / 套 / (馬具などを)つなぐ・装着するイメージ。「套马(馬に綱を掛ける/馬具をかける)」といった用法があり、比較的分かりやすい。 / 画数10画。
* strigl / 刷 / 馬をブラシがけ(櫛がけ)してきれいにするイメージ。厳密には「刷」は“ブラシでこする”だが、動物の手入れとしても通じやすい。 / 画数8画。
* friz / 烫 / 髪をカールさせる(パーマをかける)。「烫发」は中国語でパーマを表す。そのため先の「アイロンをかける(glad)」と同字を再利用。 / 「烫」は再利用(重複割当)。
* komb / 梳 / 髪を「櫛ですく・梳かす」の意。中国語「梳头」で広く認知される。 / 画数10画。
* raz / 剃 / 髭や毛を剃る意味。中国語では「剃须(髭を剃る)」などで使われる。 / 画数9画。
* bala / 扫 / 掃く・掃除する。中国語「扫地」でおなじみ。 / 画数4画で非常にシンプル。
* viŝ / 抹 / 拭う・ぬぐう。抹き取るイメージ。「拭」より画数が少なく、馴染みもある。 / 画数8画。
* lav / 洗 / 洗う。日本語にも「洗濯・洗面」などで馴染み深い。 / 画数6画と比較的少ない。
* gargar / 漱 / うがい・口をすすぐ。「漱口」で“うがい”の意になる。 / 画数14画とやや多めだが、対応する単字はほぼこれのみ。
* seg / 锯 / 鋸で切る(引く)。「锯」は「鋸(のこぎり)」の簡体字。「锯木头(木を鋸で切る)」など。 / 「金偏(钅)」＋「居」。10画前後。
* ŝovel / 铲 / シャベルやスコップですくう。「铲(鏟)」はスコップ・剣先スコップ的な道具を指す。 / 「金偏(钅)」＋「产」で9～10画。
* rast / 耙 / 熊手などでかく動作。中国語「耙」(熊手)は動詞でも使える。 / 画数10画。
* muel / 磨 / 粉に挽く・挽き臼でひく。「磨粉」「磨面」などで使用。 / 画数15画程度と多めだが、代表的な単字。
* pist / 捣 / つく・臼でつく。中国語「捣碎(つぶす)」「捣烂(すり潰す)」など。 / 画数10画。
* tan / 鞣 / (皮を)なめす。「鞣革(なめし革)」が最も直接的。 / 画数15画程度と多めだが他に適字が少ない。
* brog / 烫 / 熱湯をかける・熱湯で湯通しする。中国語「烫一下(さっと熱湯をかける)」のように使える。 / 「烫」は既出(再利用)。
* tond / 剪 / (髪・羊毛などを)刈る、はさみなどで切る。「剪毛」「剪发」などの言い回し。 / 画数9画。

1) falĉ / 割 / 「刈り取る・割る」の意に近く、中国語でも「割」(cut)として通用 / 新規

2) tajl / 裁 / 「裁断」の意。服を仕立てる際の“裁”に相当 / 新規

3) sekc / 切 / 「切断・切開」の意。画数も少なく汎用性が高い / 新規

4) tranĉ / 切 / 一般的な「切る」の意。#3と同字再利用で学習コスト削減 / #3と同字

5) hak / 砍 / 「たたき切る」「斬る」に近い。中国語の“砍”(chop)を採用 / 新規

6) kuir / 煮 / 広義の「料理する」。簡体字で“煮”は主に「煮る」だが、日中とも比較的連想しやすい / 新規

7) frit / 炸 / 油で揚げる(フライ)の意。中国語で「油炸」の略。 / 新規

8) bak / 烤 / オーブン等で焼く(bake)。中国語で「烤」は焼く全般 / 新規

9) rost / 烤 / あぶり焼く(roast)。#8と同字を再利用し区別は上付き等で対応 / #8と同字

10) tajp / 打 / 「打字」(タイプする)の略イメージ。日中とも“打つ”→タイプの連想可 / 新規

11) kompost / 排字 / 印刷での植字・組版に相当。中国語「排字」で広く通じる / 2文字熟語

12) skrib / 书 / 中国語で「书写＝書く」の中心字。日本語では「書」の簡体と理解しやすい / 新規

13) stenograf / 速记 / 速記。中国語「速记」、日本語「速記」で意味が類推可 / 2文字熟語

14) projekci / 投影 / 映写・投射。中国語でも「投影」と言い、日中双方で想像しやすい / 2文字熟語

15) desegn / 画 / デザイン・描画。最もシンプルな「画」を用いて「描く」ニュアンス / 新規

16) skiz / 素描 / スケッチ(下描き)。中国語・日本語でも「素描」で通じる / 2文字熟語

17) ilustr / 插图 / 挿絵・イラスト。中国語「插图」はそのまま「挿絵」の意味 / 2文字熟語

18) brod / 刺绣 / 刺繍。中国語「刺绣」、日本語「刺繍」で対応可能 / 2文字熟語

19) gravur / 刻 / (金属や木に)彫り込む、刻む。汎用性ある「刻」 / 新規

20) tatu / 纹身 / 入れ墨、タトゥー。中国語で一般的な「纹身」 / 2文字熟語

21) skulpt / 雕 / 彫刻する。中国語の「雕刻」より一文字の「雕」を採用 / 新規

22) ĉiz / 刻 / 彫刻・ノミで彫る。「gravur」と同系統なので再利用 / #19と同字

23) ŝmir / 涂 / (油などを)塗る。「涂抹」の中心字「涂」で表現 / 新規

24) lubrik / 润滑 / 潤滑。中国語の一般表現「润滑」(機械に油を注す) / 2文字熟語

25) dron / 溺 / 溺れる。「溺水」の中心字。「溺死」など日中ともに近い意味合い / 新規

### **1) inund**

swift

Copy

inund/泛/「泛滥」の「泛」で氾濫・溢れるイメージを表現/水偏(氵)を既に他でも使う可能性が高く学習コストが低い

* 選定理由: 現代中国語で「氾濫」は「泛滥」と書くため、「泛」一字で「溢れる・広がる」といったニュアンスを示せます。
* 学習コスト: 水偏(氵)は他の語根でも出現しやすいため共有しやすい。

### 2) diboĉ

swift

Copy

diboĉ/荡/「放荡(放蕩)」の核心字で、酒色にふける・放縦な意味をイメージ/同じ水偏(氵)系統とは異なるが画数(9画)は比較的少なめ

* 選定理由: 「放荡(放蕩)」の「荡」は「酒色にふける」「放縦」といったニュアンスを含むため。
* 学習コスト: 「荡」は日本語の「蕩」に相当し、放蕩(ほうとう)と結びつけてイメージしやすい。

### 3) ferment

swift

Copy

ferment/酵/「发酵」の主要字で、発酵を直接連想可能/「酉」偏は醸造・酒など関連語に再利用可

* 選定理由: 中国語の「发酵」に含まれる「酵」は発酵の核心を表す字。
* 学習コスト: 「酉」偏(酒に関連)は他の醸造・発酵関連で使い回しが期待できる。

### 4) bol

swift

Copy

bol/沸/「沸騰」を直接表す字/水偏(氵)で他の液体関連と共有可

* 選定理由: 中国語「沸腾」の「沸」が「沸騰する」そのものを端的に示す。
* 学習コスト: 水偏(氵)は他でも登場するため、使い回しが可能。

### 5) fand

swift

Copy

fand/熔/「熔化」(溶かす,溶融)に用いられる火偏の字/火偏(灬)は他の加熱系語根に流用可

* 選定理由: 「熔化」「熔铸」など「高温で溶かす・溶融する」イメージに適合。
* 学習コスト: 火偏(灬)は加熱や燃焼を表す語で、ほかの類似動作(烧, 灼 など)とまとめて覚えやすい。

### 6) degel

swift

Copy

degel/融/「融化」(氷・雪が解ける)を直接表す字/前項の「熔」と同音・類似形で混同に注意

* 選定理由: 中国語「融化」は、氷や雪などが自然に溶ける際に使う。
* 学習コスト: 「熔」と形・発音が似ているが、氷が溶ける(融) vs. 金属などを溶かす(熔)で用途区別。

### 7) civiliz

swift

Copy

civiliz/教/「教化する」「開化させる」の意味を単字に集約/既出の「教」を他の教導関連にも転用

* 選定理由: 中国語で「教化」の「教」は文字通り「教える」「啓発する」ニュアンス。
* 学習コスト: 「教」は「教える」や「宗教」の語にも共通する常用漢字。

### 8) edif

swift

Copy

edif/教/宗教的・精神的に教化(啓蒙)する意も同様に「教」で対応/同上

* 選定理由: 「edify(教化・徳性を高める)」→「教」とほぼ同義。civiliz と同字だが差別化は振り仮名等で。
* 学習コスト: すでに割当済みの「教」を流用し、文字数を抑える。

### 9) ilumin

swift

Copy

ilumin/照/照らす・照明するを端的に示す/火偏+昭の組み合わせだが比較的意味把握しやすい

* 選定理由: 中国語「照亮」「照明」からの連想で、「光を当てる」「明るくする」の意を一字で表現。
* 学習コスト: 画数はやや多め(13画)だが、「明」や「光」よりも「照」の方が「照らす」動作を明確に示す。

### 10) rivel

swift

Copy

rivel/显/「显示」「显露」の「显」で暴く・明らかにするニュアンス/見開きの要素が含まれイメージしやすい

* 選定理由: 中国語「显示(表示・明示する)」「显露(現す)」などから「明らかにする」意味。
* 学習コスト: 8画で比較的シンプル。日本語では「顕」の簡体字としても認識できるかもしれない。

### 11) infuz

swift

Copy

infuz/注/「注入」「灌注」の「注」で、液体を入れる・注ぎ込むイメージ/水偏(氵)共有で学習しやすい

* 選定理由: 中国語「注入」＝「液体等を流し込む」→「infuse, instill」の核心動作に近い。
* 学習コスト: 水偏(氵)系の字は他にも複数あるためまとめて覚えやすい。

### 12) ventol

swift

Copy

ventol/通/「通风」(換気)の「通」で空気を通す・流す意味/すでに水偏等と異なるが画数(10)は比較的少なめ

* 選定理由: 「ventilate＝通风」。単字では「通」に「通気」の意味合いを込める。
* 学習コスト: 「通」は日本語でも「通す」「交通」等で馴染みがあり比較的学びやすい。

### 13) filtr

swift

Copy

filtr/滤/「过滤」の「滤」でろ過を直接表現/水偏(氵)で濾過・濾すイメージ

* 選定理由: 中国語の「过滤」でフィルター動作を示す字。
* 学習コスト: 水偏(氵)の応用字が増えるが「滤」は比較的よく使われるため妥当。

### 14) rafin

swift

Copy

rafin/炼/「精炼」「提炼」で“精製・精錬”を表す/火偏(灬)で「熔」「灼」と同系列

* 選定理由: 中国語「精炼(精製/精錬)」「提炼(抽出)」の「炼」で、化学的・工業的な精製を連想しやすい。
* 学習コスト: 火偏(灬)仲間でまとめると把握しやすい。

### 15) kaŭteriz

swift

Copy

kaŭteriz/灼/焼灼(しょうしゃく)・焼き焦がすを表す字/火偏(灬)を流用

* 選定理由: 「灼」は「焼く・焦がす・灼熱」などの意味を持ち、cauterize(焼灼)に対応しやすい。
* 学習コスト: 「炼」「熔」「灼」など火偏(灬)統一で、加熱系動詞の学習が体系化しやすい。

### 16) satur

swift

Copy

satur/满/「满」(満たす・いっぱいにする)で飽和イメージを表現/飽和(饱和)に近いが、単字ならこちらが自然

* 選定理由: 「饱和」は2文字だが、一字で「飽和(＝完全に満たす)」を近似的に表すなら「满」が適切。
* 学習コスト: 「满」は日本語の「満」と同形で意味を直感しやすい(簡体字でもほぼ同じ形)。

### 17) distil

swift

Copy

distil/馏/「蒸馏」の後半字で蒸留を直接表現/食偏(饣)の下に「⻏(邑)」構造

* 選定理由: 中国語「蒸馏」で蒸留を示す主要構成字。
* 学習コスト: 馬偏や水偏ではなく、食偏(饣)で若干異なるが、化学処理系として押さえる。

### 18) el/turn/iĝ##

bash

Copy

el/turn/iĝ##/未対応/語根ではなく複合要素のため割当対象外/---

* 選定理由: 末尾に “#” が付されており、語根ではないため割当を見送る。

### 19) ĵongl

swift

Copy

ĵongl/耍/「玩杂耍」の「耍」を選択/手品・軽業など「弄ぶ」ニュアンス

* 選定理由: 「耍」は「遊び弄ぶ」「曲芸をする」イメージが強く、ジャグリングに近い。
* 学習コスト: 「耍」はやや画数(10画)があるが、動作として分かりやすい。

### 20) forĝ

swift

Copy

forĝ/锻/「锻造」(鍛造)の核心字/金偏(钅)で金属加工のイメージ

* 選定理由: 中国語で「锻造(鍛造)」に用いられる主要字。
* 学習コスト: 金偏(钅)も頻出要素なので、それほど学習負荷は大きくない。

### 21) skerm

swift

Copy

skerm/剑/フェンシング「击剑」から「剑」を採用/刀偏(刂)を含み「剣」のイメージ

* 選定理由: 中国語「击剑」でフェンシングを表すが、一字なら「剑」が武器(剣)の要点を示す。
* 学習コスト: 刀偏(刂)は日本人にも「刃物」というイメージで認知しやすい。

### 22) met

swift

Copy

met/放/「放置」から「放」を採用/置く・下ろすニュアンスを中国語でも「放下」と表せる

* 選定理由: 「met＝置く」を中国語では「放置」や「放下」と言うケースあり。
* 学習コスト: 「放」は日本語でも「放す・放置」などおなじみで、8画と比較的簡単。

### 23) munt

swift

Copy

munt/组/「组装」(組み立てる)から核心となる「组」を用いる/糸偏(纟)で構成要素をまとめるイメージ

* 選定理由: 中国語「组装」→部品を組むイメージが明確。「组」は名詞的にも「チーム・組」などで使われる。
* 学習コスト: 糸偏(纟)は繋ぎや組み合わせを連想でき、単純化しやすい。

### 24) instal

swift

Copy

instal/设/「设置」「设立」の「设」を用いて設置・インストールの意/言偏(讠)で「言う」イメージだが現代では「設ける」が主

* 選定理由: 中国語「设置」などで「設置」「インストール」に近い意味を持つ。
* 学習コスト: 簡体字「设」は画数(6画)が少なめで覚えやすい。

### 25) insid

swift

Copy

insid/陷/「陷阱」(わな)の「陷」で落とし入れるニュアンス/土偏(⼟)+夬(ケツ)の組合せ

* 選定理由: 「陷阱」は陰謀・落とし穴・はめる動作に密接。「陷」一字で「陥れる」の感覚にも近い。
* 学習コスト: 日本語の「陥」に近く、意味連想しやすい。

rembur / 塞 / 「詰め込む」「詰め物をする」の意味に近い。「塞住(ふさぐ)」「填塞(てんさい)」などでも“中を埋める・詰める”含意が強い / (新出)

* flik / 补 / 「縫い合わせる・継ぎを当てる」の意味に近い。簡体字「补」は「修补(修繕)」「缝补(縫い直し)」などに使われる / (新出)
* lut / 焊 / 「半田づけする」「溶接する」に相当する。中国語の「焊接」は一般的な表現 / (新出)
* rabot / 刨 / 「かんなをかける」に近い。「刨子(かんな)」「刨木(木を削る)」などで使用 / (新出)
* tremp / 泡 / 「ひたす」「浸す」「浸ける」の意味に近い。中国語では「泡(お湯に浸す)」「泡茶(お茶をいれる)」など / (新出)
* implik / 缠 / 「もつれさせる」「絡ませる」に近い。簡体字「缠」は“巻き付く、絡ませる”含意が強く、C1の「缠住」とも合致 / (新出)
* rigl / 闩 / 「かんぬきをかける」に近い。簡体字「闩」は“扉や窓を閂(かんぬき)で留める”という意味 / (新出)
* kribr / 筛 / 「ふるいにかける」に対応。簡体字「筛」(「篩」の簡体)は“ふるう・ふるい分ける”意 / (新出)
* kned / 揉 / 「(こねて)形を作る」「こねる」。中国語で「揉面(麺をこねる)」「按摩(マッサージ)で揉む」など / (新出)
* draŝ / 打 / 「打穀する」は中国語で「打谷(穀を打つ)」など。“叩く・打ち付ける”を広く含む最も基本的な字 / (新出)
* absorb / 吸 / 「(注意・興味を)吸収する」「夢中にさせる」のニュアンス。中国語で「吸引(惹きつける)」「吸收(吸収)」など / (新出)
* vek / 醒 / 「目覚めさせる」。中国語で「醒来(目覚める)」「叫醒(起こす)」。やや画数は多いが“覚醒”の意が明確 / (新出)
* konstern / 惊 / 「仰天させる」「驚かせる」。中国語の「惊讶」「惊恐」など、“驚き”の意味が強い / (新出)
* inspir / 启 / 「心に吹き込む」「啓発する」。中国語の「启发(啓発する)」「启示(インスピレーション・示唆)」に相当 / (新出)
* log / 诱 / 「気を引く」「誘惑する」「誘い寄せる」。中国語では「引诱(引き寄せる)」「诱惑(誘惑する)」など / (新出)
* tent / 诱 / 「誘惑する」。上記(log)と同じ「诱」を再利用し、学習コスト削減。(必要に応じ区別を補助記号等で示す想定) / 「诱」を再利用
* incit / 煽 / 「(怒りなどを)あおる、扇動する」。中国語で「煽动(扇動する)」「煽火(火をあおる)」など / (新出)
* provok / 惹 / 「挑発する」「(感情を)引き起こす」。中国語の「惹事(事を起こす)」「招惹(招き寄せる)」で“挑発”ニュアンス / (新出)
* instig / 励 / 「励ます」「鼓舞する」。中国語の「鼓励(励ます)」「勉励(努力を促す)」で使用 / (新出)
* stimul / 激 / 「刺激する」「奮い立たせる」。中国語「激励」「刺激」「激发(奮い起こす)」などで汎用性が高い / (新出)
* ekscit / 激 / 「興奮させる」「奮い立たせる」。上記「stimul」と意味が近いため同じ「激」で再利用 / 「激」を再利用
* agit / 煽 / 「扇動する」「煽り立てる」。17番「incit」と近く、「煽」は既に使用済みのため再利用 / 「煽」を再利用
* est/ig## / 使 / 「(を)引き起こす」「～させる」。中国語の「使(…させる)」「使得(～の状態にさせる)」で原因・使役を表す / (新出)
* indukt / 归纳 / 「帰納する」「総合する」。1文字対応が困難なため2文字の熟語「归纳」を採用 / (2文字熟語)
* abort / 流产 / 「流産する」「(妊娠を)中断する」。中国語で標準的に「流产(流産・中絶)」という2文字熟語 / (2文字熟語)

nask / 生 / 「生む・産む」の基本字。簡体字でも同形で、出生・生成のイメージに直結 / 画数も少なく学習負担が軽い

* akuŝ / 产 / 「出産する」のニュアンス。簡体字「产」は日本語の「産」に相当し、出生・生産のイメージが強い / 「nask=生」と使い分けも可能
* kultur / 种 / 「種をまいて栽培する」イメージ。中国語では「种植」(植える)の核心字。日本語「種」と同根で連想しやすい / 画数(9画)は比較的少なめ
* bred / 养 / 動物を「飼育する」「育てる」の意。中国語で「饲养」「养殖」に通じ、日本語の「養う」とも対応 / 以下(5)(6)とも同字を使い回し
* nutr / 养 / 「養う・栄養を与える」を表す。上記(4)と同字流用で学習コストを低減 / 中国語の「营养(栄養)」「抚养(扶養)」とも関連
* adopt / 养 / 「養子にする」「子を引き取る」の意。中国語「收养」に含まれる「养」を単独転用 / (4)(5)と同字
* ĉikan / 扰 / 「悩ませる・ちょっかいを出す・騒がす」に近い。簡体字「扰」(旧字:擾)は「騒擾」「騒がす」の含意 / 7画で比較的シンプル
* fuŝ / 失 / 「失敗する・しくじる・やらかす」の基本イメージ。中国語でも「失败(失敗)」「过失(過失)」等で用いられる / 画数が5画と少なく覚えやすい
* rasp / 刮 / 「こそげ取る・削る・擦り下ろす」。中国語で「刮胡子(髭を剃る)」「刮削」など「削る」イメージ / 8画で比較的シンプル
* kontuz / 伤 / 「打撲傷・擦り傷など負傷させる」イメージ。簡体字「伤」(旧字:傷)は日中とも「ケガ・損傷」連想が容易 / 重宝しやすい汎用字
* turment / 虐 / 「虐待する・いじめる」。中国語・日本語ともに「虐待」「残虐」で使用 / 9画程度だが意味の対応が明確
* atenc / 攻 / 「攻撃する・危害を加える」。中国語「攻击(攻撃)」、日本語「攻撃」「攻め」など / 7画と比較的少なめ
* strik / 罢 / 「ストライキをする」。中国語「罢工(ストライキ)」の核心字。日本語の「罷業」「罷免」等とも関連 / やや珍しいが字義が明確
* bojkot / 抵制 / 1文字で「ボイコット」を表現しにくいため2文字熟語を採用。中国語で「抵制」は「ボイコット」の定訳 / 日本語でも「抵抗＋制限」で推測しやすい
* buĉ / 屠 / 「屠殺する・解体処理する」。中国語「屠杀」「屠宰」、日本語「屠畜」などに通じる / 8画で比較的簡明
* murd / 杀 / 「殺害する」。簡体字「杀」(旧字:殺)。日本語「殺す」に通じ、漢字圏での意味把握が容易 / 凶悪な意味をもつ単字
* paf / 射 / 「(銃や弓で)撃つ」。中国語・日本語いずれも「射撃」「発射」のイメージ / 10画だが認知度が高い
* bombard / 炮 / 「砲撃する」「爆撃する」に近い。中国語「炮火」「炮击」、日本語「砲」「砲火」等で連想 / 9画程度
* paŝt / 牧 / 「放牧する・牧場で飼う」。中国語「牧羊」「牧场」、日本語「牧場」など / 8画で意味が明確
* dres / 驯 / 「(動物を)調教する・馴らす」。中国語「驯服(馴服)」「驯养(馴養)」に対応 / 日本語「馴」(旧形)に通じる
* klaft / 噚 / 「尋(ひろ)・ファゾム(測深単位)」。中国語でも「噚」は「fathom」を指すが非常にマイナー / 他に適切な単字が乏しいため妥協案
* manĝ / 食 / 「食べる」。中国語では現代口語で「吃」が一般的だが、漢字圏全体で「食」は“食事”の核心 / 9画だが日中とも認知度大
* fast / 斋 / 「断食する・斎戒する」。中国語「斋戒」、日本語「斎(齋)」と同根 / 斎食・精進料理のイメージが近い
* digest / 消化 / 1文字では表現が難しく、2文字熟語「消化」を採用。日中とも同形・同義 / 「消」に「化」(変化)が加わる構造で連想容易
* dir / 说 / 「言う・語る」。中国語で「说话(話す)」、日本語では旧字「説」に通じるが「言う」の意味 / 簡体字としての認知度が高い

### 1) rakont

rakont / 讲 / 「語る・物語る」イメージで / （既出・予定の他語根とも使い回せる常用字）

* 選定理由: 「讲」(旧字：講) は「語る・話す」の意味が広く、「物語る」のニュアンスにも通じやすい。画数も少なめ(6画)。
* 学習コスト: 将来的に「言う」「話す」系で頻用可能なので、他の語根とも使い回しやすい。

### 2) esprim

esprim / 表 / 「表現する」ことを連想しやすい / （「表す」の字で日本語圏にも馴染み）

* 選定理由: 「表」には「表す」「表明する」「外にあらわす」といった意味があり、「表現する」のイメージに近い。
* 学習コスト: 漢字1文字で伝わりやすく、日本語圏も「表(ひょう/あらわ)す」の熟語でなじみあり。

### 3) prononc

prononc / 发 / 「発音」(发音) からの連想 / （画数少・口から発する意味）

* 選定理由: 中国語「发音 (fāyīn)」=「発音」に使われる「发」を単独採用。
* 学習コスト: 画数5画と少なく、発するイメージが定着しやすい。

### 4) dikt

dikt / 口述 / 「口で述べさせる」行為を直接表す2文字熟語 / （単漢字だと厳しいため2字）

* 選定理由: 「口述(こうじゅつ)」は「口頭で言い、それを書き取らせる」行為を端的に示す熟語。
* 学習コスト: 「口」(3画)＋「述」(8画)＝合計11画。やや多めだが意味明確。すでに「述」を別の語根で使う案もあり得る。

### 5) predik

predik / 讲 (※必要に応じて“讲^p”などで区別) / 「説教する」「講道」のニュアンス / （“講”の再利用）

* 選定理由: 「説教」「講道」に近い意味を単漢字で示すなら「讲」が比較的近い。実際の中国語では「讲道」「传教」等があるが、単漢字重視なら再利用も可。
* 学習コスト: 既に「rakont」に「讲」を割り当てているが、接尾的に区別(ダイアクリティカルマーク等)を付す運用を想定。

### 6) deklam

deklam / 诵 / 「朗読・吟誦」 (朗诵)からの連想 / （単漢字で「声に出して読む」）

* 選定理由: 中国語「朗诵(朗読)」などで使われる「诵」(旧字：誦)。意味が「声に出して読む・詠む」に直結。
* 学習コスト: 7画。日本語の「朗誦(ろうしょう)」に通じ、比較的イメージしやすい。

### 7) svat

svat / 媒 / 「媒酌人(仲人)」の“媒” / （結婚の仲介イメージ）

* 選定理由: 中国語「媒人」＝仲人・媒酌人の「媒」。
* 学習コスト: 12画とやや多めだが、日本語の「媒酌(ばいしゃく)」「媒体(ばいたい)」などで認知度あり。

### 8) iĝ (接尾: ～になる)

iĝ / 成 / 「～になる」「成る」の直接イメージ / （簡潔・画数少）

* 選定理由: 「成(なる・なるす)」は「変化して～になる」の意味が強い。中国語圏でも「成(chéng)」は“成功/完成”など「成る」のニュアンス。
* 学習コスト: 6画で比較的少なめ。

### 9) ig (接尾: ～させる)

ig / 使 / 「使役する」「～させる」 / （一字で使役をイメージ）

* 選定理由: 中国語「使…」は「～させる」、日本語でも「使役」の熟語で馴染みあり。
* 学習コスト: 8画。

### 10) kroz

kroz / 巡 / 「巡航」(巡逻,巡回)から連想 / （画数少なく「回る」「巡る」ニュアンス）

* 選定理由: 中国語で「巡航(xúnháng)」=クルーズ、航行巡回。単漢字なら「巡」が近い。
* 学習コスト: 6画で比較的シンプル。

### 11) navig

navig / 航 / 「航行」「航海」からの連想 / （「船で行く」ニュアンス）

* 選定理由: 「航(こう)」は船などで行く意味。「导航(navigate)」「航海」「航天」など関連語多数。
* 学習コスト: 10画ながら「航」のイメージは日中ともに把握しやすい。

### 12) navigaci

navigaci / 航行 / 「航行・航海」の動作や概念 / （単字＋付字で明確化）

* 選定理由: 「航行」は“navigate”や“航海する”のニュアンスをよりハッキリ表す2字熟語。
* 学習コスト: 「航」(10画)＋「行」(6画)=16画。やや多いが、既出の「航」「行」の組み合わせで対応可能。

### 13) migr

migr / 迁 / 「迁移」(移動・移住)のイメージ / （比較的画数少・「遷」の簡体）

* 選定理由: 中国語の「迁」(旧字：遷)には「移る・引っ越す・転じる」などの意味があり、遊動や移動にも馴染む。
* 学習コスト: 6画と少なめ。日本語の「遷(せん)」との対応。

### 14) vojaĝ

vojaĝ / 旅 / 「旅をする」まさにその字 / （日中ともに「旅行」イメージが直感的）

* 選定理由: 「旅」は旅行の核心的イメージ。中国語「旅行(lǚxíng)」にも含まれる字。
* 学習コスト: 10画だが認知度は高い。

### 15) ekskurs

ekskurs / 远足 / 「遠足」の直訳2字熟語 / （一文字対応が難しいため2字）

* 選定理由: 中国語でも「远足(yuǎnzú)」は「遠足・ハイキング」を表す。
* 学習コスト: 「远」(7画)＋「足」(7画)=14画。

### 16) paŝ

paŝ / 步 / 「一歩・ステップ」 / （歩みを象徴する字）

* 選定理由: 「步(bù)」は「歩く」「一歩」などの意味で単漢字対応として最適。
* 学習コスト: 7画。

### 17) marŝ

marŝ / 征 / 「行進・遠征」ニュアンス / （軍事行進や進軍イメージ）

* 選定理由: 「征(zhēng)」は「行く・遠征する」の含意があり、軍隊の行進と関連が深い。
* 学習コスト: 8画。日本語でも「遠征」「征服」などで認知される。

### 18) promen

promen / 散步 / 「散歩」そのまま / （単漢字だけでは表しにくい）

* 選定理由: 中国語「散步(sànbù)」は「ぶらぶら歩く・散歩する」。単漢字「散」や「步」だけでは「散歩」を明確に表しづらいので2字熟語に。
* 学習コスト: 「散」(12画)＋「步」(7画)=19画とやや多めだが意味は的確。

### 19) kur

kur / 跑 / 「走る」「駆ける」の中国語で一般的 / （日本語「跑」単独は馴染み薄だが意味は分かりやすい）

* 選定理由: 中国語で「跑(pǎo)」=「走る」。日本語では「奔跑(ほんぱう)」「疾走」などの一部で見かける。
* 学習コスト: 7画。

### 20) ir

ir / 走 / 「行く」(中国語では「歩く・移動する」も含む) / （最も基本的「行く」動詞）

* 選定理由: 中国語「走(zǒu)」は「歩く」「行く」など幅広く「移動する」意味。エスペラントの「行く」に対応しやすい。
* 学習コスト: 7画。日本語では「走(はし)る」と読みがずれるが、形としては馴染みがある。

### 21) ŝak

ŝak / 棋 / 「チェス・将棋・囲碁」などの共通イメージ / （単字で“ボードゲーム”を連想）

* 選定理由: 中国語では「国际象棋(チェス)」「棋类(ボードゲーム)」など「棋」が広く使われる。
* 学習コスト: 9画。

### 22) lud

lud / 玩 / 「遊ぶ・もてあそぶ」 / （中国語「玩」＝遊ぶ、英“to play”に近い）

* 選定理由: 中国語「玩(wán)」は「遊ぶ」。日本語でも「玩具(がんぐ)」で馴染みあり。
* 学習コスト: 8画。

### 23) petol

petol / 淘气 / 「いたずら・やんちゃ」 / （単漢字での「悪戯」は難しく2字熟語が自然）

* 選定理由: 中国語で「淘气(táoqì)」=「やんちゃ・いたずらっ子」。他に「调皮」などもあるが、いずれも2文字。
* 学習コスト: 「淘」(11画)＋「气」(4画)=15画。

### 24) manovr

manovr / 演习 / 「(軍)演習・機動作戦」 / （中国語で軍事演習の定番表現）

* 選定理由: 中国語「演习(yǎnxí)」=「軍事演習、機動演習」。単漢字だと意味が狭くなるため2文字を採用。
* 学習コスト: 「演」(14画)＋「习」(3画)=17画。

### 25) ekzerc

ekzerc / 练 / 「練習する・訓練する」 / （中国語「练/训练」の核心）

* 選定理由: 中国語では「训练(xùnliàn)」が一般的だが、単漢字なら「练(liàn)」＝訓練/練習の動詞として通じる。
* 学習コスト: 7画。「练習(练习)」「训练」など関連語も多く発展しやすい。

1) trejn / 训 / 「训练」の略。訓練・教え導くニュアンス / (新規)

2) proced / 行 / 「进行」(進行・手順を進める)の中心漢字。手順を進める意 / (#3 ag と同字)

3) ag / 行 / 「行动」(行動)の中心漢字。動作・行為を表す / (#2 proced と同字)

4) entrepren / 企 / 「企业」(企業)などの「企」。企てる・事業を起こすニュアンス / (新規)

5) trakt / 处 / 「处理」(処理・取り扱う)の中心漢字。扱う・対処する意 / (新規)

6) manipul / 操 / 「操作」「操纵」の「操」。操作・操るニュアンス / (新規)

7) mov / 动 / 「移动」(移動)の「动」。動かすニュアンス / (新規)

8) port / 带 / 「携带」(携帯・持ち運ぶ)の「带」。持参・携行の意 / (新規)

9) vetur / 乘 / 「乘车」(乗車)などの「乘」。乗り物に乗るニュアンス / (新規)

10) rajd / 骑 / 「骑马」(騎馬)などの「骑」。動物や自転車に乗るニュアンス / (新規)

11) import / 进 / 「进口」(輸入)の「进」。入れる・持ち込むニュアンス / (新規)

12) eksport / 出 / 「出口」(輸出)の「出」。外へ出すニュアンス / (新規)

13) korespond / 信 / 「通信」「书信」(手紙)の「信」。文通・連絡の意 / (新規)

14) trafik / 通 / 「交通」(こうつう)の「通」。往来・通行の意 / (新規)

15) fluktu / 波 / 「波动」(波動・変動)の「波」。上下変動・ゆれ動くニュアンス / (新規)

16) ŝanĝ / 变 / 「改变」(変える)の「变」。変化・変更の意 / (#17 vari と同字)

17) vari / 变 / 「变化」(変動する)の「变」。変動・バラつきの意 / (#16 ŝanĝ と同字)

18) traduk / 译 / 「翻译」(翻訳)の「译」。翻訳全般を指す / (#19 interpret と同字)

19) interpret / 译 / 「口译」(通訳)の「译」。通訳・解釈の意 / (#18 traduk と同字)

20) prozelit / 未対応 / 宗教的改宗者を表す単漢字が難しく、今回は割当見送り /

21) konvert / 改 / 「改宗」「改める」の「改」。何かを変える・改める意 / (#23 re/form## と同字)

22) metamorfoz / 化 / 「变化」「化身」などの「化」。姿・形態が変わるニュアンス / (新規)

23) re/form## / 改 / 「改革」「改造」の「改」。作り直す・改革する意 / (#21 konvert と同字)

24) ripar / 修 / 「修理」の「修」。壊れたものを直すニュアンス / (#25 modif と同字)

25) modif / 修 / 「修改」(修正・変更)の「修」。修正・改訂の意 / (#24 ripar と同字)

1. korekt / 改 /  
   　理由: 「訂正する」の意。中国語「改正」「修改」などに使われる「改」は、日本語でも「改める」「改訂」などで馴染みがある。画数も比較的少なく分かりやすい。
2. bind / 装订 /  
   　理由: 製本(装丁・装訂)の意味を直接表す熟語。「装」単独では「よそおう」の意味が強く、「订」単独では「予約・注文」の意味が強い。二文字の「装订」が最も一般的で誤解が少ない。
3. redakt / 编 /  
   　理由: 「編集する」の意味。中国語では「编辑(编)」が定番。単一字では「编」が対応しやすい。日本語の「編(あむ・へんしゅう)」にも通じる。
4. kompon / 构 /  
   　理由: 「構成する」の意味を反映。中国語「构成」に使われる「构」の簡体字は、日本語の「構(こう)」にあたる(旧字は「構」)。比較的画数も少ない。
5. kompil / 编 /  
   　理由: 「編集する」「編さんする」「(プログラムを)コンパイルする」に相当。中国語では「编译」「编辑」と同じ「编」を用いる。上記(3)redaktと同一字だが、使い分けは文脈・上付き文字などで対応。
6. modul / 调 /  
   　理由: 音楽などで「転調する」「調整する」の意。中国語「调(調)」は「調べる・整える・音調」の意味を持ち、日本語の「調(しらべ・ととのえる)」にも近い。
7. konfuz / 乱 /  
   　理由: 「混乱させる」「乱す」の意。中国語「混乱(搞乱)」、日本語「乱れる」に通じる。画数が比較的少なく、意味の連想もしやすい。
8. komplik / 复杂 /  
   　理由: 「複雑にする」。中国語で「复杂(複雑)」が標準的表現。1文字では意を十分に表せる字が少ないため、2文字熟語を選択。
9. fund / 底 /  
   　理由: 「底・基礎」の意。中国語「底部」、日本語「底(そこ)」いずれも直感的に通じやすい。
10. profund / 深 /  
    　理由: 「深い・深遠な」。中国語「深刻」、日本語「深(ふか)い」と共通性が高い。
11. abism / 渊 /  
    　理由: 「深淵」の意。中国語「深渊」、日本語「淵(ふち)」。ここでは簡体字「渊」を単独で割り当て(「深渊」だと2字なので省略)。
12. sond / 测 /  
    　理由: 「(深さを)探る・測る」の意。中国語「测量(測量)」「探测」、日本語「測(はか)る」に通じる。
13. sulk / 垄 /  
    　理由: 農地の「うね・畝」に相当。中国語では「垄(壟)」が畑の畝や畝間を指す。日本語だとあまり見慣れないが、画数が比較的少なく中国語では一般的。
14. kavern / 洞 /  
    　理由: 「洞窟・ほら穴」。中国語「山洞」、日本語「洞(ほらあな)」に対応。
15. tru / 孔 /  
    　理由: 「穴・孔」。中国語「孔洞」や「气孔」など、日本語でも「孔(あな)」はある程度意味を推測しやすい。
16. kav / 坑 /  
    　理由: 「穴・くぼみ・ピット」。中国語「坑道」「矿坑」など、日本語でも「坑道」「炭坑」などで認知される。
17. bor / 钻 /  
    　理由: 「(穴を)開ける・ドリルで穿(うが)つ」。中国語「钻孔」，日本語でも「ドリルで穴をあける」イメージと近い。
18. fos / 掘 /  
    　理由: 「(地面を)掘る」。中国語の「挖」も候補だが、日本語圏には「掘(ほる)」のほうが直感的に通じやすい。
19. fos## / 未対応 /  
    　理由: 語根ではない(#付き)とのことなので、ここでは割当を行わない。
20. akn / 粉刺 /  
    　理由: 「吹き出物・にきび」。中国語では「粉刺」が標準的。1文字対応は困難なので2文字熟語を選択。
21. ŝaŭm / 泡 /  
    　理由: 「泡・あわ」の意。中国語・日本語ともに「泡」は基本的なイメージを共有しやすい。
22. rekrement / 渣 /  
    　理由: 「絞りかす・くず」。中国語「渣滓」などの「渣」は“かす”全般に幅広く使われる。単一字で比較的短い。
23. ŝpruc / 喷 /  
    　理由: 「噴出する」。中国語「喷射(噴射)」、日本語「噴(ふ)く」の簡体字。短く分かりやすい。
24. ŝut / 撒 /  
    　理由: 「(粉粒を)まく・まき散らす」。中国語「撒(まき散らす)」が最適。「洒」は主に液体を撒くニュアンス。
25. ĵet / 投 /  
    　理由: 「投げる・放る」。中国語「投掷」や日本語「投(な)げる」で共通概念。画数も少ない。

verŝ / 注 / 「注ぐ」「注入」の意を持ち、日中双方で「液体を注ぐ」イメージが分かりやすい / 初出

1. pump / 抽 / 「抽出する」「ポンプで吸い上げる」の意味合いに近く、日中双方で用法が類推しやすい / 手偏(扌)を含み、他動詞的ニュアンスをイメージしやすい
2. glut / 吞 / 「呑む」「吞み込む」を直接示す簡体字。日本語の「呑(む)」に相当 / 初出
3. suĉ / 吸 / 「吸う」に最適。中国語・日本語(「吸う」)ともに直感的に理解可能 / 初出
4. ĉerp / 汲 / 「汲む」の字がそのまま日中双方で水を汲む意味を持つ / さんずい偏を活用
5. sorb / 吸收 / 単一漢字で「吸収」を表すのが難しいため2文字熟語に。「吸」と「収(收)」で「吸収」の意味が明確 / 「吸」は既出・「收」は新出だが、多義的に使いやすい
6. krev / 裂 / 「破裂・裂ける」のイメージに直結。日本語の「裂ける」、中国語の「裂开」とも関連 / 初出
7. eksplod / 爆 / 「爆発」を表す最も代表的な字。日本語「爆発」、中国語「爆炸」とも連想しやすい / 初出
8. erupci / 喷 / 中国語の「喷(噴)」は「噴く」「噴出する」の意。噴火や噴出を連想可 / 口偏(口)を含む
9. ŝvel / 胀 / 「膨らむ・腫れる」を示す簡体字。日本語の「脹(膨脹)」に対応 / 肉月(⺼)偏
10. puf / 鼓 / 「鼓起(ふくらむ)」の語感から転用。厳密には「太鼓」の意味もあるが「膨れ」を連想しやすい / つくりに「支」を含むやや画数多め
11. etend / 伸 / 「伸ばす」に直結。日本語・中国語ともに「伸展」「伸びる」を想起しやすい / 人偏(亻)
12. stern / 铺 / 簡体字の「铺(鋪)」は「敷く・広げる」意。日本語「敷(しく)」にも通じる / こざとへん(阝)と布の組み合わせ
13. kler / 文 / 「文(ぶん)＝文化・教養」を象徴する字で日中いずれもイメージしやすい / 画数が少なく汎用的
14. intelekt / 智 / 「知性」「智慧」に対応。日本語も「智恵(智慧)」のイメージで理解可能 / 既出の「知」とは異なるが、より「英知」を表す
15. percept / 觉 / 簡体字で「覚(かく)」にあたる。知覚・感じ取る意を連想しやすい / すでに「吸收」の「收」が出ているため、新規字として追加
16. prudent / 慎 / 「慎重」「思慮深い」の意味。日中ともに「慎む」から「用心深い／思慮深い」ニュアンスを理解しやすい / 心偏(忄)
17. saĝ / 贤 / 簡体字の「賢」。賢明・賢いの意を日中双方で共有 / 画数が少なく覚えやすい
18. inteligent / 聪 / 「聡明な」を示す簡体字。日本語の「聡(さと)い」に相当し、知的イメージがある / 耳偏(耳)を活用
19. lert / 巧 / 「巧み」「器用な」。日中で「巧妙」「精巧」を連想 / 画数少なめで覚えやすい
20. sagac / 敏 / 「敏捷」「機敏」からの連想で、「明敏な」「鋭敏な」意をカバー / 攵(攴)偏
21. sprit / 灵 / 「灵(靈)」は中国語で「機敏・霊妙・才気」を示唆。機知・ウィットを連想できる / 画数が比較的少ない
22. memor / 记 / 「記憶」の「記」が簡体では「记」。覚えている・記す等を連想 / 言偏(讠)
23. parker / 背 / 中国語で「背诵(暗唱する)」「背下来(覚える)」という表現があり、「暗記して」を想起可能 / 日本語では「せ・せおう」のイメージが強いが、流用
24. sobr / 节 / 「节制(節制)」に通じる簡体字。「節度」「節約」のニュアンスと近い / 竹かんむり(⺮)

abstin / 戒 /

* + 選定理由: 「戒」は「戒める」「警戒」「禁戒」などの語感をもち、「節制・禁戒」の意味を比較的端的に示せる。
  + 学習コスト: 初出。日本語でも「戒める」「戒律」等で馴染みがある字。

1. sekur / 安 /
   * 選定理由: 「安」は「安全」「安心」のイメージが強く、「安全な」を一文字で表すのに適切。
   * 学習コスト: 初出。画数6画で比較的少なく、日本人にも「安全」「安静」で馴染み深い。
2. atent / 注 /
   * 選定理由: 「注意」(to pay attention)の「注」を抜き出し、「注意深い/注目」のニュアンスを一字で表現。
   * 学習コスト: 初出。日本語の「注目」「注視」に通じる。
3. sin/gard## / 慎 /
   * 選定理由: 「慎」は「慎重」「謹慎」など「注意深く用心する」ことを示す。
   * 学習コスト: 初出。画数はやや多め(13画)だが、小心(2文字)を避けて1文字でまとめた。
4. okult / 玄 /
   * 選定理由: 「玄」は「奥深い」「神秘的」「玄妙」など、オカルティック・神秘的なニュアンスを一字で示しやすい。
   * 学習コスト: 初出。画数5画で比較的少なく、日本語の「玄関」「玄米」にも含まれるため目にしやすい。
5. mistik / 玄 /
   * 選定理由: 「mystic(神秘主義)」系の意味も「玄」と近い。okultと同字使い回しで学習コストを抑える。
   * 学習コスト: 既出字との使い回し。
6. enigm / 谜 /
   * 選定理由: 中国語の「谜语(なぞなぞ)」に直結。「謎」を簡体化した字が「谜」。
   * 学習コスト: 初出(簡体字)。日本語の「謎(なぞ)」と同源だが、部首(讠)がやや目新しいかもしれない。
7. sekret / 秘 /
   * 選定理由: 「秘密」「秘訣」の「秘」。意味が「秘密」に直結し、日本語・中国語ともに理解しやすい。
   * 学習コスト: 初出。画数10画。日本語の「神秘」「秘蔵」で親しみあり。
8. mister / 谜 /
   * 選定理由: 「mystery」=「迷(谜)」や「謎」のニュアンス。すでにenigmで「谜」を使っており使い回し可能。
   * 学習コスト: 既出の「谜」と同じ字を再利用。
9. artifik / 计 /

* 選定理由: 「計略」「策略」の「計(计)」。中国語では「计策」「计谋」としても「策略」「術策」に近い。
* 学習コスト: 初出(簡体字は「计」)。画数4画と少なく、見た目もシンプル。

1. alkemi / 炼金 /

* 選定理由: 中国語で「炼金术」はアルケミー(錬金術)の定訳。「炼金」2字で「錬金(する)」の意味を示す。
* 学習コスト: 初出2文字熟語。「炼」は「火+东」の形でやや覚えが必要だが、「金」は日中共通で分かりやすい。

1. alĥemi / 炼金 /

* 選定理由: 上と同じく錬金術(アルケミー)なので、同じ熟語を流用。
* 学習コスト: 既出の2文字熟語と全く同じ。

1. sorĉ / 咒 /

* 選定理由: 「咒」は呪文・呪いなど「魔法的な“唱えごと”」を示す漢字。「施咒(呪文を施す)」とも呼応。
* 学習コスト: 初出。口偏に「兄」のような形で8画。

1. magi / 魔 /

* 選定理由: 「魔法」「魔術」などの「魔」。日本語・中国語とも「魔＝magic」の連想が強い。
* 学習コスト: 初出。画数は多い(21画)が「魔法」「悪魔」で広く知られる。

1. fikci## / 虚 /

* 選定理由: フィクション(虚構)という意味から。「虚」は「虚構」「空虚」の「虚」。
* 学習コスト: 初出。日本語にも「虚無」「虚ろ」で存在し、認知はしやすい。

1. fikci / 虚 /

* 選定理由: 上と同一語根扱いなら同字「虚」を使い回して学習コスト削減。
* 学習コスト: 既出字を再利用。

1. fenomen / 象 /

* 選定理由: 「现象(phenomenon)」の後半「象」を引用。厳密には「象=かたち/姿」だが、単独一字ならこちらが近い。
* 学習コスト: 初出。日本語の「現象」「気象」など「象」が付く熟語も多く連想しやすい。

1. vizi / 幻 /

* 選定理由: 「vision(幻影的なイメージ)」→「幻」に対応させる。
* 学習コスト: 初出。4画と画数が少なく「幻覚」「幻影」でお馴染み。

1. sonĝ / 梦 /

* 選定理由: 「夢(梦)」に相当。睡眠中の「夢」を直接表すなら「梦」が最適。
* 学習コスト: 初出(簡体字)。日本語の「夢(ゆめ)」と一対一の対応。

1. imag / 想 /

* 選定理由: 「想像」「构想」など、“思い描く”イメージに対応して「想」を選定。
* 学習コスト: 初出。日本語の「思想」「発想」などでお馴染み。

1. rev / 幻 /

* 選定理由: 「rev」は“空想する・夢想する”ニュアンス。viziと同様「幻」でまとめ、必要に応じ区別(振り仮名など)を付す。
* 学習コスト: 既出字「幻」を再利用。

1. fantazi / 幻 /

* 選定理由: 「fantasy」=「幻想」。同様に「幻」を再利用。
* 学習コスト: 既出字を再利用。

1. iluzi / 幻 /

* 選定理由: 「illusion」=「幻覚」。同じく「幻」として統合。
* 学習コスト: 既出字を再利用。

1. ideal / 理想 /

* 選定理由: 中国語で「理想」は「ideal」の定訳。1文字に納めるのは困難なため2文字熟語を採用。
* 学習コスト: 初出2文字。いずれも日本語でも馴染みある字。

1. optativ / 愿 /

* 選定理由: 「optative(願望法)」は「願う・望む」のニュアンス。「愿(願)」が最も近い。
* 学習コスト: 初出(簡体字)。日本語の「願」に相当。

last / 末 /  
選定理由: 「末」は日本語でも「終わり」「末端」などの意味を連想しやすく、中国語簡体字でも「末」(mò)は“終わり”を示すと理解可能。画数も5画と比較的少ない。  
学習コスト: 新出の偏旁は「木」（日本語でも馴染み深い）。

* ultimat / 末通 /  
  選定理由: 原義「最後通牒」は中国語で「最后通牒」。そこから「最後」=「末」、通牒の「通」を取って「末通」として短縮。やや意訳気味だが、「ultimatum」のニュアンスを残そうとした。  
  学習コスト: 「末」は既出。「通」はやや画数(10画)が多いが、比較的よく使われる漢字であり日本語でも「交通」「通信」の「通」として馴染みがある。
* imperfekt / 未完 /  
  選定理由: 「未完」は「まだ完結していない」という意味で、日本語でも「未完了」、中国語でも「未完成」の略に近い形としてイメージしやすい。文法概念の「未完了形(不完備過去)」にも通じる。  
  学習コスト: 「未」「完」ともに日本語・中国語で基本的な字。
* eks / 前 /  
  選定理由: 「eks-」は「元～」「前～」を表す接頭辞なので、そのまま「前」を割り当て。日本語でも「前会長」「前職」など、「前」は「former」の意味が分かりやすい。  
  学習コスト: 新出だが、画数9画、偏旁は「刂(りっとう)」+「月」系ではなく、「前」は通常「刂」+「舟」の省形など複合だが、いずれにせよ比較的よく見かける常用字。
* preterit / 过 /  
  選定理由: 「preterite」は「過去時制」の意。中国語で「过去(guòqù)」のうち、「过」だけ抜き出すと“過ぎる”や“過去”の感覚に近い。  
  学習コスト: 「过」は4画(簡体字化で「過」のしんにょう部分が短縮)。日本語でも「過去」「通過」など「過」の字形に近く、比較的推測がしやすい。
* is / 过 /  
  選定理由: エスペラントの動詞語尾「-is」は「(直説法)過去形」。上記の「preterit」と同じ「过」を重複割当することで、学習コストを抑える。  
  学習コスト: 既出の「过」と同一字。学習者は「過去」を表す語尾・語根として同じ字を見れば「これは“過去”に関係する」とまとめて覚えられる。
* l' / 那 /  
  選定理由: 「l'」は定冠詞「la」の短縮形。中国語に“定冠詞”に相当する単漢字はないため、指示代名詞的に「那(nà)」（=「あの」「その」）を転用。  
  学習コスト: 画数6画。日本語でも「那覇(ナハ)」などで見かける字。
* je / 于 /  
  選定理由: 「je」はエスペラントの汎用前置詞。「〜に」「〜で」等いろいろ訳せるが、中国語の「于(yú)」も「…に」「…で」「…から」等、多用される介詞。「je」の多義性に近い。  
  学習コスト: 画数3画と少なく、日本語でも「干」「卜」などに近い形があり、比較的覚えやすい。
* ke / 那 /  
  選定理由: 接続詞「～ということ」を表す「ke」。中国語には単漢字の完璧な対応がなく、やむを得ず「那」に再割当(“that”というニュアンスの代用)。  
  学習コスト: 「那」は既出。l'/la との混同の恐れはあるが、「接続詞としての那(ke)」「定冠詞としての那(la)」と割り切って活用(振り仮名や上付き区別など)。
* ing / 套 /  
  選定理由: 「ing-」は「さや」「ホルスター」「ケース」など“入れ物”を意味する接尾辞。中国語の「套(tào)」は“カバー・ケース・セット”を表すため比較的近い。  
  学習コスト: 「套」は10画だが、日本語でも「套」は「トウ(音読み)」で見かける(「套袋」など中国語由来の文脈)。
* um / 嗯 /  
  選定理由: 「um-」は「(意味不定の)何か」を示す接尾辞。中国語の感嘆詞「嗯(èn/ńg)」は、英語の "um..." に近い曖昧さがあるため採用。  
  学習コスト: やや画数(13画)があるが、実音も「um」に近い。
* int / 了 /  
  選定理由: 完了した能動分詞(過去分詞)を示す接尾辞。中国語の完了マーカー「了(le)」を流用すると、動作完了の意味を連想しやすい。  
  学習コスト: 画数2画で非常にシンプル。
* it / 了 /  
  選定理由: 完了した受動分詞にも、同じ完了マーカー「了」。ここでは受動のニュアンスは省略し、完了を重視して割当。同一字への重複割当。  
  学習コスト: 既出の「了」。
* ant / 现 /  
  選定理由: 能動・現在分詞を示す接尾辞。「現(现)」は「今」の感覚を表しやすい。  
  学習コスト: 「现」は簡体字で5画。日本語でも「現在」「現実」等の「現」に近くイメージ可能。
* at / 现 /  
  選定理由: 受動・現在分詞。「現(现)」を再利用し、“今まさに行われている(受動状態を受けている)”と解釈。受動のニュアンスは文字上は省略している。  
  学習コスト: 既出の「现」。
* ont / 将 /  
  選定理由: 能動・未来分詞。「これから～する」という意味合いなので、中国語で未来・将来を示唆する「将」を割当。  
  学習コスト: 画数9画。「将来」「将軍」など日本語にもある字形。
* ot / 将 /  
  選定理由: 受動・未来分詞だが、同じく「これから行われる受動」ということで「将」を再利用。  
  学習コスト: 既出の「将」。
* as / 现 /  
  選定理由: エスペラント動詞語尾の現在形「-as」。既に「現在＝现」として割当済みなので重複利用。  
  学習コスト: 既出の「现」。
* os / 将 /  
  選定理由: エスペラント動詞語尾の未来形「-os」。既に未来の意味を「将」として割当済みなので重複利用。  
  学習コスト: 既出の「将」。
* la / 那 /  
  選定理由: エスペラント定冠詞「la」。上記「l'」と同じく、定冠詞の概念を中国語の指示詞「那」で代用。  
  学習コスト: 既出の「那」。
* us / 若 /  
  選定理由: 条件法(仮定法)を示す「-us」。中国語古文で「若(ruò)」は「もし〜ならば」の意があり、仮定を連想しやすい。  
  学習コスト: 画数8画。日本語でも「若(わか)い」の字形と同一なので意味の混乱はあり得るが、「もし～ならば」の古用も知られれば納得可能。
* aŭstrali / 澳 /  
  選定理由: 「澳大利亚」（オーストラリア）の略称「澳」。日本語でも「豪州」の他に「豪」や「澳」が使われる例があり(「澳門=マカオ」の「澳」など)認知度はそこそこ。  
  学習コスト: 15画と多めだが、地名・固有名詞なので割り切り。
* izrael / 以 /  
  選定理由: 中国語では「以色列(Yǐsèliè)」。そこから最初の「以」を取り出して割当。  
  学習コスト: 画数4画。「以」は日本語でも「以後」「以外」などで馴染み深い。
* ernest / 尔 /  
  選定理由: エルネストを中国語表記すると「欧内斯特」など複数候補があるが、一文字化は難しいため、音の近い「尔(ěr)」を抽出。  
  学習コスト: 画数5画。日本語では「爾(爾来)」の旧字形に近く、やや古風だが「エル」の音を連想させやすい。
* aleksandr / 亚 /  
  選定理由: 一般に「亚历山大(アレキサンダー)」。一文字だけ抜くなら「亚」(yà)が代表的。日本語の「亜」と字形が近い。  
  学習コスト: 画数6画。日本語で「亜」「亜細亜(アジア)」などと同形に近い。

krokodil / 鳄 /

* + 選定理由: 簡体字「鳄」はワニ類全般の意を示す（「鳄鱼=ワニ」）。
  + 既出・学習コスト: 次の「aligator」と同じく「鳄」を使い回し、文字種を削減。

1. aligator / 鳄 /
   * 選定理由: 短吻ワニ(アリゲーター)も広義の「鳄」(ワニ類)に含まれるため、同字を再利用。
   * 既出・学習コスト: 「krokodil」と同字を流用。
2. rus / 俄 /
   * 選定理由: 中国語で「俄罗斯」を略して「俄」を用いる。日本語では歴史的に「俄国」とも表記。
   * 既出・学習コスト: 新出文字だが、国名用の略字としてシンプル。
3. pol / 波 /
   * 選定理由: ポーランド＝「波兰」で「波」が略称。
   * 既出・学習コスト: 国名略字として使用。
4. hispan / 西 /
   * 選定理由: スペイン＝「西班牙」。漢語圏では「西」または「西班」と略すことが多い。
   * 既出・学習コスト: 「西」は画数が少なく、日本語圏でも「西=にし」の形で馴染みあり。
5. franc / 法 /
   * 選定理由: フランス＝「法国」。漢語圏では「法」で略す。
   * 既出・学習コスト: 国名略字。画数も比較的少ない。
6. angl / 英 /
   * 選定理由: イギリス(英国)の略字「英」。
   * 既出・学習コスト: 国名略字。
7. german / 德 /
   * 選定理由: ドイツ＝「德国」の略「德」。
   * 既出・学習コスト: 国名略字。
8. meriz / 樱 /
   * 選定理由: 「野生のサクランボ」=「野樱桃」等だが、単字化を優先し「樱」に集約。
   * 既出・学習コスト: 新出文字(さんずい＋「婴」の部分)だが、後続の「ĉeriz」とも共用。
9. api / 芹 /

* 選定理由: セロリ=「芹菜」。野生セロリを単字「芹」でまとめ、画数を節約。
* 既出・学習コスト: 後述(22)「kres」とも同字再利用。

1. primol / 春 /

* 選定理由: サクラソウ=「报春花」。元々「春を告げる花」の意を持つため、意味の核心「春」を採用。
* 既出・学習コスト: 新出文字だが、単字で済むため比較的シンプル。

1. ĉeriz / 樱 /

* 選定理由: チェリー(サクランボ)=「樱桃」。(9)「meriz」と同じく「樱」で一括。
* 既出・学習コスト: (9)で既出文字を再利用。

1. granat / 榴 /

* 選定理由: ザクロ=「石榴」。単字化すると「榴」。
* 既出・学習コスト: 新出文字だが、本来2文字(石榴)を1文字に抑えた。

1. gros / 莓 /

* 選定理由: グースベリーは「醋栗」など複雑なので、ベリー系の総称として「莓」を流用。
* 既出・学習コスト: 以下のベリー類とも「莓」を再利用し、文字種削減。

1. framb / 莓 /

* 選定理由: ラズベリー=「覆盆子」等が長いので、ベリー系統を「莓」に統一。
* 既出・学習コスト: (14)と同字を流用。

1. avel / 榛 /

* 選定理由: ハシバミ(ヘーゼルナッツ)=「榛子」が標準。単字「榛」を採用。
* 既出・学習コスト: ナッツ類を「坚(坚果)」等で一括化も可能だが、本例では意味の分かりやすさ優先。

1. morus / 桑 /

* 選定理由: 桑の実=「桑葚」だが、単字「桑」で「桑の木・実」を連想可能。
* 既出・学習コスト: 新出文字。

1. kaŝtan / 栗 /

* 選定理由: クリ=「栗子」「板栗」。単字「栗」が日中で共通認識しやすい。
* 既出・学習コスト: 新出文字。

1. oksikok / 莓 /

* 選定理由: クランベリーもベリー類として「莓」に統一。
* 既出・学習コスト: (14)(15)と同じ字。

1. rubus / 莓 /

* 選定理由: ブラックベリー=「黑莓」。同じくベリー系列のため「莓」。
* 既出・学習コスト: 「莓」を流用。

1. truf / 菌 /

* 選定理由: トリュフ=「松露」「块菌」などが一般的だが、「菌」(菌類)を単字で採用。
* 既出・学習コスト: 新出文字だが、松露を含むキノコ類全般を連想できる。

1. kres / 芹 /

* 選定理由: クレソン=「水田芥」等が複雑。野菜系として(10)「芹」と共用(葉物のイメージ)。
* 既出・学習コスト: (10)と同字を再利用。

1. frukt / 果 /

* 選定理由: 果実=「果」「水果」。最も基本的な「果」を使用。
* 既出・学習コスト: 汎用性が高く、他語根にも応用可能。

1. ber / 莓 /

* 選定理由: ベリーの総称=「莓」。具体的な種類問わず“液果”と捉えられる。
* 既出・学習コスト: (14)(15)(19)(20)と同じ字を再利用。

1. fig / 无花果 /

* 選定理由: イチジク=「无花果」が中国語での正式名称。
* 既出・学習コスト: 3文字だが、中国語圏・日本語圏とも「無花果(旧字)」の形で通じやすい。
* （※もし単字化を最優先するなら「果」にまとめる方法もあり得るが、イチジクと判別しにくい）

rib

swift

Copy

rib/莓/ベリー類(スグリ)の一括簡略化として/「frag」「mirtel」など他のベリー系とも共用

* 選定理由: 中国語でスグリ(カシス・レッドカラント等)を表す「黑加仑/红加仑」などは2文字以上になるため、ベリー系は一律「莓」に集約。
* 学習コスト: “艹”偏(草かんむり)が付く正字「莓」は常用ではないが、「草莓(イチゴ)」「蓝莓(ブルーベリー)」の一部として中国語でも目にする。

1. abrikot

swift

Copy

abrikot/杏/杏(アンズ)として日中ともに認知される単字/既出の字との重複は特になし

* 選定理由: 中国語でも「杏」(xìng)、日本語でも「杏(あんず)」で通じるため。

1. kokos

swift

Copy

kokos/椰/「椰子(coconut)」を連想/他との重複少

* 選定理由: 中国語で「椰子」(yē zi)の主要字。日本語では常用漢字ではないものの「椰子油」等で見かける。
* 学習コスト: 「木」偏を含むが、やや画数は多め(12画)。ただし1文字で連想しやすい。

1. daktil

swift

Copy

daktil/枣/中国語の「枣(なつめ)」を転用/単字で「デーツ」を連想しやすい

* 選定理由: 中国語において「枣」は本来「ナツメ(Ziziphus jujuba)」だが、「海枣(椰枣)」の「枣」としてデーツを連想できる。
* 学習コスト: 「木」偏を含むが比較的画数少なめ(8画)。

1. nuks

swift

Copy

nuks/坚果/「ナッツ類」一般を示す熟語/「果」は既出再利用

* 選定理由: 単字で「ナッツ」を意味する漢字は存在しないため、一般的な「坚果(jiān guǒ)」を採用。
* 学習コスト: 「坚」は新出だが、「果」は後述の「苹果」と重複しているためトータル字数を抑えられる。

1. jugland

swift

Copy

jugland/胡桃/中国語でも「胡桃(hú táo)」＝クルミ/「胡」は後述で再利用

* 選定理由: 漢和辞典でも「胡桃(くるみ)」として日中で共有される表記。
* 学習コスト: 「胡」は後述の「胡萝卜(人参)」と共通。すでに出てくる文字を再利用することで総字数を節約。

1. cidoni (マルメロ)

bash

Copy

cidoni/-/該当なし（未対応）/簡易な1～2文字が存在しないため見送り

* 選定理由: 中国語でマルメロを指す「榲桲」などは画数が多くマイナー。日本語でも「マルメロ」は単漢字がない。
* 学習コスト: 割当を強行すると学習負荷が高くなるため、ここでは未対応。

1. melon

swift

Copy

melon/瓜/メロン(ウリ科全般)を象徴する単字/日中共に「ウリ・メロン類」として通じる

* 選定理由: 中国語で「甜瓜(メロン)」や「西瓜(スイカ)」、日本語でも「瓜(うり)」を連想できる。
* 学習コスト: 画数が少なく、他のウリ科でも使い回しが可能。

1. prun

swift

Copy

prun/李/プラム類(スモモ)を指す常用漢字/中国語の「李子(lǐ zi)」

* 選定理由: 日本語でも「李(すもも)」や人名用漢字としてある程度認知。中国語では「李」単独でプラムを意味する。

1. persik

swift

Copy

persik/桃/モモを指すシンプルな単字/日中ともに通じる

* 選定理由: 中国語「桃(táo)」、日本語「桃(もも)」。

1. oliv

swift

Copy

oliv/橄榄/オリーブ/既存で1文字がないため2文字熟語

* 選定理由: 中国語の一般的名称「橄榄(gǎn lǎn)」。日本語でも「橄榄油」として辞書に載る。
* 学習コスト: 「橄」「榄」ともに初出だが、オリーブ専用なのでやむを得ず2文字。

1. oranĝ

swift

Copy

oranĝ/橙/オレンジ(柑橘類)の単字/中国語で「橙子」、日本語で「橙(だいだい)」

* 選定理由: 中国語「橙(chéng)」、日本語の「橙(だいだい)」も柑橘類を連想できる。

1. pir

swift

Copy

pir/梨/洋ナシを含む梨全般/日中共通認識

* 選定理由: 中国語「梨(lí)」、日本語「梨(なし)」ともに同じ字形。

1. mirtel

swift

Copy

mirtel/莓/ブルーベリー系として「莓」に統合/ベリー類の共通字

* 選定理由: 上記rib(スグリ)と同様、ベリー系は「莓」で一括。

1. pom

swift

Copy

pom/苹果/りんご/「苹」「果」どちらも再利用可能性が高い

* 選定理由: 中国語の標準表記「苹果(píng guǒ)」。日本語でも「アップル＝リンゴ」とすぐ連想しやすい。
* 学習コスト: 「果」はnuks(坚果)とも重複するので、トータルの新出字数は抑えられる。

1. frag

swift

Copy

frag/莓/イチゴ(オランダイチゴ)も「ベリー」として莓を流用

* 選定理由: 「草莓(イチゴ)」の下半分「莓」を全ベリー系に統一。

1. vanil

r

Copy

vanil/香草/バニラは「香草(xiāng cǎo)」が比較的一般的

* 選定理由: 中国語の「香草」はバニラエッセンスの原料植物を指すことも多い。1文字「香」だけでは範囲が広すぎるため2文字熟語。

1. banan

swift

Copy

banan/蕉/バナナ(香蕉)の主要字/画数を抑え単字化

* 選定理由: 中国語で「香蕉(xiāng jiāo)」の後半「蕉」を流用。日本語の「芭蕉(ばしょう)」にも含まれる。

1. ananas

swift

Copy

ananas/菠萝/パイナップル/中国語で一般的

* 選定理由: 「凤梨(fèng lí)」もあるが、中国大陸でより一般的な「菠萝(bō luó)」を採用。

1. tomat

swift

Copy

tomat/番茄/トマト/中国語の一般名称

* 選定理由: 「西红柿(xī hóng shì)」は3文字なので、より簡潔な「番茄(fān qié)」。

1. cep

swift

Copy

cep/葱/タマネギを大まかに「ネギ類」として扱う/画数少ない単字

* 選定理由: 中国語「洋葱(yáng cōng)」の後半「葱」を単字化。厳密には「タマネギ≠葱」だが、学習コスト削減を優先。

1. karot

swift

Copy

karot/胡萝卜/ニンジン/既出「胡」「萝」「卜」で構成

* 選定理由: 中国語で一般的な「胡萝卜(hú luó bo)」。すでに「胡」は「胡桃」、後述「萝」は他でも利用。
* 学習コスト: 3文字だが、各成分が他語根にも流用されるため、新出字数は比較的抑えられる。

1. pore

swift

Copy

pore/韭/ニラネギ(リーキ)をまとめて「韭」/中国語「韭菜(にら)」等と同根

* 選定理由: 中国語の「韭葱(jiǔ cōng)=リーキ」など「韭」が入る。日本語でも「韮(にら)」表記に近い。

1. rafan

swift

Copy

rafan/萝卜/ダイコンやハツカダイコンなど大根系を指す

* 選定理由: 中国語「白萝卜(bái luó bo)」等で広く「ラディッシュ(萝卜)」系を連想。
* 学習コスト: 「萝」「卜」はkarot(胡萝卜)とも共通。

1. ter/pom##

bash

Copy

ter/pom##/土豆/ジャガイモ/中国語で一般的呼称

* 選定理由: 「马铃薯(mǎ líng shǔ)」もあるが3文字なので「土豆(tǔ dòu)」。一部地域ではピーナッツを指すこともあるが、標準語ではポテトの意味で通る。

kukum / 瓜 /

* + 選定理由: 「瓜」はキュウリ・ウリ・メロンなどウリ科全般を連想させる簡体字(日本語でも「瓜」はウリ科を広く示す)。画数も7画と比較的少なく、意味の連想も容易。
  + 学習コスト: 他のウリ科系語根(kukurb)にも「瓜」を再利用する予定。

1. brasik / 甘蓝 /
   * 選定理由: 中国語でキャベツ(洋白菜)を「甘蓝(ガンラン)」と総称する場合がある。日本語でも「甘藍」という表記が「キャベツ」の漢訳として存在。
   * 学習コスト: 2文字だが、いずれも比較的画数少なめ(甘=5画、蓝=7画)。単字での適切な割当が難しいため熟語を採用。
2. kukurb / 瓜 /
   * 選定理由: 「kukurb」はカボチャ・ヒョウタン類(南瓜属)だが、ウリ科全般を表す「瓜」を再利用。日本語の「カボチャ(南瓜)」にも「瓜」が入っている。
   * 学習コスト: すでにkukumで用いた「瓜」を再利用し、漢字の種類を増やさない方針。
3. elizabet / 伊 /
   * 選定理由: 中国語で「伊丽莎白(Elizabeth)」の冒頭文字「伊」を抜き出し、簡略かつ部分的に転用。日本語圏でも「伊=イ」の音は想像しやすい。
   * 学習コスト: 1文字で済むため画数・新出漢字数を抑えられる。
4. alibi / 未対応 /
   * 選定理由: 「アリバイ」を1文字や極小文字数で表す適切な簡体字が見当たらず、無理に当てはめると意味を誤解されやすいためスキップ。
5. arabesk / 未対応 /
   * 選定理由: 「アラベスク」を1文字の簡体字で表すことは難しく、熟語(蔓藤花纹など)にしても長くなるため今回は割当を見送り。
6. alkov / 未対応 /
   * 選定理由: 「アルコーブ(alcove)」に対応する壁龛(ビカン)などは2文字以上かつ画数も多め。簡潔な単字が無いためスキップ。
7. arnik / 未対応 /
   * 選定理由: 「アルニカ(arnica)」を示す簡体字は通常「山金车」だが3文字であり、単字候補もないためスキップ。
8. angelik / 未対応 /
   * 選定理由: 「アンゼリカ(angelica)」は「当归」「欧当归」など2文字以上で、単字の転用が難しいためスキップ。
9. atripl / 未対応 /

* 選定理由: 「ハマアカザ(Orache)」に対応する定訳は長く、単字が存在しないためスキップ。

1. akaci / 未対応 /

* 選定理由: 「アカシア(Acacia)」は一般に「金合欢属」など2文字以上。「合」や「欢」1字では意味が曖昧なのでスキップ。

1. aspid / 蛇 /

* 選定理由: 「aspid(asp, エジプトコブラ)」はコブラ＝蛇の一種。1文字で「蛇」とするのが最もシンプル。
* 学習コスト: 新規漢字だが、日本語圏でも「へび」と読める。

1. utopi / 未対応 /

* 選定理由: 「ユートピア(乌托邦)」は3文字。単字「乌」「托」「邦」いずれも直接「理想郷」を連想しにくいためスキップ。

1. esperant / 世界语 /

* 選定理由: 中国語におけるエスペラントの定訳が「世界语」。日本語でも「世界」と「語」で大意が通じやすい。
* 学習コスト: 3文字だが、エスペラントを示すうえで定訳を優先。

1. eŭrop / 欧洲 /

* 選定理由: 中国語で「ヨーロッパ」は「欧洲」。日本語でも「欧州」は「ヨーロッパ」の意として定着しており、双方に通じやすい。

1. amfor / 瓶 /

* 選定理由: アンフォラ(amphora)は本来「双耳の壺」など複数字が必要だが、意味合いが「壺・瓶」に近いので簡易的に「瓶」とした。
* 学習コスト: 1文字に収めるため、多少抽象化した割当。

1. ambrozi / 未対応 /

* 選定理由: 神の食物「アンブロシア」を1文字で表す適切な漢字がなく、熟語も長いためスキップ。

1. obol / 币 /

* 選定理由: オボロス(古代ギリシア銀貨)を示す簡体字が無いため、通貨・貨幣を広く示す「币」に統合。
* 学習コスト: 4画のシンプルな字。

1. ur / 牛 /

* 選定理由: ヨーロッパ野牛(aurochs)の絶滅種を厳密に1文字化は難しいが、牛類であるため「牛」を割当。
* 学習コスト: 4画とシンプル。

1. ogiv / 拱 /

* 選定理由: ゴシック建築の尖拱(オジーブ)は中国語で「拱顶」などと表現するが、核心概念「拱(アーチ)」1字を採用。
* 学習コスト: やや画数はある(8画)が1文字に簡略化。

1. hoboj / 未対応 /

* 選定理由: オーボエは「双簧管」(3文字)で、単字「管」だけだと汎用管楽器になってしまうためスキップ。

1. oaz / 未対応 /

* 選定理由: オアシスは「绿洲」(2文字)が標準だが、単字で適合するものがなく、無理に片方だけでは誤解生じやすいのでスキップ。

1. ozon / 臭氧 /

* 選定理由: 中国語でオゾンは「臭氧」。単字「臭」「氧」では正確性を大きく損なうため2文字採用。
* 学習コスト: 2文字だが、化学用語としては定着している。

1. tarif / 税 /

* 選定理由: 「関税表」「税率表」等はいずれも複数字必要。ここでは意味を簡略化し、「税」1字に集約。

1. akciz / 税 /

* 選定理由: 「消費税」「物品税」など複数字になるため、tarif(関税)と同様に「税」で統一。
* 学習コスト: すでにtarifで使用した「税」を再利用。

impost / 税 /

* + 理由: 「税」は「tax」の意味で日中ともに直感的に理解しやすい単字。
  + 学習コスト: 画数は比較的多め(12画)だが、税関係の語根に流用できるメリット大。

1. dogan / 关税 /
   * 理由: 「关税」は「関税」「customs duty」を意味する標準的な2文字熟語。1文字で「関税」を表す漢字は存在しない。
   * 学習コスト: 「税」は既出(「impost」で使用)。新出の「关」(かんむり部分は日本語の「門」に近く、簡体字で扉を示す)を加える形になる。
2. aĝi / 贴水 /
   * 理由: 「aĝi」は商業用語の「agio(為替手数料・打ち歩)」に相当。中国語の金融用語で「贴水」はプレミアムや差額を指す際に用いられる。
   * 学習コスト: 「水」は後述の「akv」で登場予定。「贴」(貝偏＋帖の簡体)が新出。2文字熟語だが短く、意味面で適切。
3. helik / 蜗牛 /
   * 理由: 「カタツムリ」。中国語の標準表記は「蜗牛」(日本語の「蝸牛」の簡体字)で、日中ともに“カタツムリ”だと分かりやすい。
   * 学習コスト: 「牛」はごく基本的な漢字。「蜗」はやや画数が多いが、他に1文字で「カタツムリ」を示す一般的字がない。
4. trust / 托拉斯 /
   * 理由: 企業合同(トラスト)を指す中国語として一般的な音訳語。単漢字で対応不可。
   * 学習コスト: 全て新出だが、ビジネス用語として定着している外来音訳。
5. makler / 经纪 /
   * 理由: 「仲買」「ブローカー」。中国語では「经纪」が一般的(「经纪人」の略)。
   * 学習コスト: 「经」は糸偏で経済や管理、「纪」は記録(糸偏)。2文字だが意味を誤解しにくい。
6. komerc / 商 /
   * 理由: 「商」は「商売」「ビジネス」の意。シンプルかつ日中とも直感的。
   * 学習コスト: 既に使用している漢字とは重複していないが、単字なので画数(11画)はそこそこ。意味の把握は容易。
7. negoc / 商 /
   * 理由: 「negoc(取引・交渉等)」も「商業行為」の一端。同じ「商」で兼用し、学習コスト削減。
   * 学習コスト: 「komerc」と同一漢字を割り当て。1文字を使い回すことで総使用漢字数を抑える。
8. fabrik / 厂 /
   * 理由: 「工場」を意味する代表的な簡体字は「工厂」だが、「厂」単独でも「工場・工房」を指す用法がある。画数が少なく覚えやすい。
   * 学習コスト: 2画と非常に少なく、再利用の利点が大きい。
9. manufaktur / 工坊 /

* 理由: 「手工業製の工場」「作坊」のイメージ。現代中国語でも「工坊」は「工房・作業場」に近く、手作業のニュアンスを伝えやすい。
* 学習コスト: 「工」はごく基本字(3画)。「坊」は新出(7画)だが比較的わかりやすい。

1. maŝin / 机械 /

* 理由: 「機械」。簡体字で「机械」は日本語「機械」に対応し、両言語で通じやすい。
* 学習コスト: 「机」(6画)と「械」(11画)で少々多めだが、二文字熟語として定着。

1. aŭtomat / 自动 /

* 理由: 「自動装置・オートマトン」。中国語では「自动」で「自動的」を意味。省字化で分かりやすい。
* 学習コスト: 既出の要素はないが、2文字で標準的な表現。

1. central / 电厂 /

* 理由: 「中央施設」→(動力)発電所・パワーステーションとして「电厂」が適切。1文字での「中央設備」の表現は困難。
* 学習コスト: 「电」は初出(5画)、「厂」は既出(「fabrik」)。組み合わせでわかりやすい。

1. motor / 马达 /

* 理由: 「モーター」を指す中国語として一般的な音訳「马达」。
* 学習コスト: 新出の「马」(3画)と「达」(6画)の組み合わせで2文字。

1. lokomobil / 拖拉机 /

* 理由: 直訳すれば「移動式蒸気機関」だが、中国では“牽引するエンジン”イメージで「拖拉机」(トラクター)に近い。歴史的厳密性は多少異なるが、短く通じやすい。
* 学習コスト: 3文字だが、それぞれが農耕機や牽引に関わる常用字。

1. asperg / 洒 /

* 理由: 「(水を)撒く・振りかける」。中国語「洒(sǎ)」は「振りまく・散布する」意。
* 学習コスト: 氵(さんずい)は既出「水」と関係あり、ある程度まとめて学習可能。

1. akv / 水 /

* 理由: 「水」。日中で同形同義。
* 学習コスト: 基本中の基本字(4画)。多用が想定されるので単字割当。

1. hidrostatik / 静水力学 /

* 理由: 「水静力学」「流体静力学」のうち、比較的標準的な表記として「静水力学」。
* 学習コスト: 4文字でやや長いが、学術用語として定着。要素は「静」「水」「力」「学」。

1. likv / 液 /

* 理由: 「液体」を示す単字として「液」。「液体」(2文字)より簡素。
* 学習コスト: 氵偏＋「夜」(11画)だが、単独1字で「液体」の意を示すためには有用。

1. fluid / 流体 /

* 理由: 「流れる物質＝流体」。中国語の定訳。
* 学習コスト: 「流」(10画)と「体」(7画)で合わせて17画。2文字熟語としての認知度が高い。

1. kurent / 电流 /

* 理由: 「電流」。最も標準的かつ簡潔。
* 学習コスト: 「电」(既出: centralで使用)＋「流」(今回の流体・fluなどで想起可能)。

1. flu / 流 /

* 理由: 「流れる」という動作や概念に対応しやすい単字。
* 学習コスト: 10画。すでに「流体」「电流」などで登場し、再利用で一貫性がある。

1. torent / 急流 /

* 理由: 「急流」は「激しい流れ・急な流れ」。torrentに相当。
* 学習コスト: 「流」は既出、「急」(9画)は新出だが常用字。

1. frost / 冻 /

* 理由: 「厳寒」「凍結」のニュアンス。中国語「冻(dòng)」は「冷凍・凍る」の意味を単字で表す。
* 学習コスト: 7画。日本語の「凍」(に対応する繁体は「凍」)と同系で意味を推測しやすい。

1. prujn / 霜 /

* 理由: 「霜」。日本語も同形(繁体は同じく「霜」)。
* 学習コスト: 17画とやや多いが、霜を単字で示すならこれが唯一。

neĝ / 雪 /

* + 選定理由: 「雪」は日中双方で「雪」を表す常用字。簡体字も同形でわかりやすい。
  + 学習コスト: 新規偏旁だが、日本語話者・中国語話者ともに直感的に理解しやすい。

1. glaci / 冰 /
   * 選定理由: 中国語で「氷」は「冰」を用いるのが一般的。日本語の「氷」と類似し、連想しやすい。
   * 学習コスト: 「冫」偏旁(サンズイが変形したもの)が初出だが、ほかの水関連の字(例: 冰雹)とも関連付け可能。
2. vintr / 冬 /
   * 選定理由: 中国語でも「冬」は季節名の単字表現として認知される。日本語の「冬」と同形。
   * 学習コスト: 画数は少なめ(5画)で、覚えやすい。
3. aŭtun / 秋 /
   * 選定理由: 中国語の「秋(天)」を単字にした形。「秋」は日本語でも同様に「秋」。
   * 学習コスト: 画数9だが、季節を表す漢字として認知度が高い。
4. somer / 夏 /
   * 選定理由: 中国語「夏(天)」の単字。「夏」は日本語でも同形で意味が通じる。
   * 学習コスト: 画数10。季節を表す基本漢字として認知されやすい。
5. printemp / 春 /
   * 選定理由: 中国語「春(天)」の単字。日本語でも「春」で通じる。
   * 学習コスト: 季節の基本漢字。認知度が高い。
6. tromb / 龙卷风 /
   * 選定理由: 中国語で「竜巻」は「龙卷风」が最も一般的な表現。日本語の「竜巻(たつまき)」とも対応しやすい。
   * 学習コスト:
     + 「龙」(竜の簡体字)・「卷」・「风」(風の簡体字)の3文字構成。
     + ただし「风」は後述(ventなど)でも使用しており再利用可能。
7. diluv / 洪水 /
   * 選定理由: 中国語で「洪水」は一般的な「大水、氾濫」を示す語。単字「洪」だけだとやや抽象的なので熟語を採用。
   * 学習コスト:
     + 「氵」偏旁(さんずい)を含む「洪」、および「水」はすでに学習済みの部首「氵」と関連。
8. tondr / 雷 /
   * 選定理由: 日中で「雷」はいずれも雷・サンダーを表す常用漢字。
   * 学習コスト: 一目で雷を連想しやすい。
9. tempest / 暴风雨 /

* 選定理由: 「暴风雨」は「暴風雨」(暴 + 風 + 雨)と同義で、“激しい風雨＝嵐・暴風雨”を最もよく表す標準的な中国語表現。
* 学習コスト:
  + 「暴」は新出。ただし「风」は既出、また「雨」も後続(pluv)で使用。

1. uragan / 飓风 /

* 選定理由: 中国語で「ハリケーン」は一般に「飓风」と書く。
* 学習コスト:
  + 「飓」は新出(風偏「风」と「具」の組み合わせ)、しかし「风」は再利用。

1. zefir / 微风 /

* 選定理由: 「微风」は「そよ風」「やわらかな風」という意味で、中国語でもよく使われる。
* 学習コスト:
  + 「微」は新出だが、「风」は既出のため、組み合わせた熟語。

1. ond / 波 /

* 選定理由: 「波」は波浪を表す単字。日中で共通認識がある。
* 学習コスト: さんずい(氵)→「皮」の組み合わせで8画だが、比較的基本的な漢字。

1. blov / 吹 /

* 選定理由: 中国語で「吹」は「吹く」の意味。日本語でも同形で連想可能。
* 学習コスト: 「口」と「欠」を組み合わせた7画。初出だが頻用度は高め。

1. vent / 风 /

* 選定理由: 風を表す最も基本的な簡体字。日本語「風」の簡体形で、意味を連想しやすい。
* 学習コスト: 画数4のシンプルな字。以後、風関連語で使い回し可能。

1. ciklon / 气旋(※正: 气→气) /

* 選定理由: 中国語で「サイクロン」を表す一般的な言い方は「气旋」(気圧の渦)。
* 学習コスト:
  + 簡体字は「气旋」。
  + 「气」は画数4、「旋」は8画。「风」と似た“空気関連”の概念。

1. nub / 云 /

* 選定理由: 雲を表す簡体字。日本語の「雲」の簡体形。
* 学習コスト: 画数4と少なく、初学者にも覚えやすい。

1. nebul / 雾 /

* 選定理由: 「霧」の簡体字で、「霧」「もや」「ミスト」を表す。
* 学習コスト: 8画で、左に「雨」偏(简体ではやや省略形)を含む。

1. pluv / 雨 /

* 選定理由: 日中共通の漢字。「雨」は雨そのものを示す最も基本的な表記。
* 学習コスト: 8画だが気象の基礎字として頻出。

1. hajl / 冰雹 /

* 選定理由: 「冰雹」は中国語で「雹(ひょう)」を表す標準的熟語。単字「雹」だけでは通じにくい。
* 学習コスト:
  + 「冰」は(2)で既出。
  + 「雹」は新規(雨偏＋包)だが、氷・雨関連で覚えやすい。

1. aŭkci / 拍卖 /

* 選定理由: 「拍卖」は中国語で“オークション”を表す標準表現。
* 学習コスト:
  + 「拍」は手偏＋白、新規だが常用。
  + 「卖」(23で再度登場)は画数7。

1. marĉand / 讲价 /

* 選定理由: 「讲价」は“値段交渉する”の意味で中国語における口語的な定番表現。
* 学習コスト:
  + 「讲」(言偏＋兄の簡体形)と「价」(人偏＋介)は新出。
  + 2文字で比較的短め。

1. vend / 卖 /

* 選定理由: “売る”を表す簡体字。伝統字体「賣」の簡略形で、中国語では最も基本的。
* 学習コスト: すでに(21)「拍卖」で出現。「売」のイメージと対応しやすい。

1. kolport / 贩卖 /

* 選定理由: 「贩卖」は“行商する、売り歩く、転売する”などの意味。小商い・行商を示すのに一般的な表現。
* 学習コスト:
  + 「贩」は初出だが、(23)の「卖」を再利用しており関連性がある。

1. brokant / 旧货 /

* 選定理由: “古物売買・中古品”をイメージさせる熟語として「旧货」(＝中古品)を採用。
* 学習コスト:
  + 「旧」は“ふるい”の意、「货」は“品物”の意で、ともに偏旁(「日」「贝」)は比較的基本的。

ĉarlatan / 骗 /  
　理由: 「騙す」「詐欺」を直接表す簡体字。「骗」(日本語の「騙」に相当)。  
　学習コスト: 新規割当。「马」偏など要素が増えるが、詐欺の意味を端的に示す。

1. komiz / 员 /  
   　理由: 「～員」「店員」などスタッフを表す簡体字。「員」の簡体字(日本語の「員」)。  
   　学習コスト: 新規割当。人を表す「口+贝」の組合。さまざまな「～員」に転用できる余地がある。
2. magazen / 仓 /  
   　理由: 「倉庫」「庫」を意味する簡体字(日本語の「倉」に相当)。「仓库」の「仓」。  
   　学習コスト: 新規割当。比較的画数が少なく、「倉」の意味を直接表す。
3. butik / 店 /  
   　理由: 「店」「店舗」「商店」を表す簡体字(日本語でも同形)。  
   　学習コスト: 新規割当。非常に基本的な漢字で認識しやすい。
4. akci / 股 /  
   　理由: 「株」「株式」の意味を連想しやすい(中国語「股票」の「股」)。  
   　学習コスト: 新規割当。やや画数はあるが「肉月(⺼)」+「殳」で株式のニュアンスを示せる。
5. bors / 券 /  
   　理由: 「証券」「株券」「債券」等の金融証書を連想できる字。「证券」の「券」。  
   　学習コスト: 新規割当。同様の金融関連で流用可。
6. foir / 集 /  
   　理由: 「集市」「展示会(博览会)」など、“定期市(=人やモノが集まる)”をイメージしやすい。  
   　学習コスト: 新規割当。「隹(とり)」の部首を含むが、比較的イメージしやすい。
7. bazar / 市 /  
   　理由: 「市場」「市街」「バザー」を直接表す、ごく基本的な漢字。  
   　学習コスト: 新規割当。非常に基本的。
8. merkat / 市 (※bazarと同字再利用) /  
   　理由: 「商業市場」を意味するため、bazarと同じ「市」で併用・区別(上付き注など)を想定。  
   　学習コスト: 既出再利用。学習負担を抑えられる。
9. farm / 农 /  
   　理由: 「農業」「農耕」を意味する簡体字(日本語「農」の簡体形)。  
   　学習コスト: 新規割当。画数が少なく、農業のイメージが伝わりやすい。
10. lu / 租 /  
    　理由: 「賃借」「家賃」「租借」を直接表す字(日本語「租借」の「租」)。  
    　学習コスト: 新規割当。やや画数はあるが意味が直截的。
11. hipotek / 抵押 (2文字熟語) /  
    　理由: 単字で「抵当(=mortgage)」を直接表しにくいため「抵押」を採用。  
    　学習コスト: 「抵」「押」は今後ほかでも用いられる可能性があるので学習コストを分散できる。
12. koncesi / 让 /  
    　理由: 「譲渡」「譲る」を想起する簡体字(日本語の「譲」に相当する語源)。英語の“concede”にも近い。  
    　学習コスト: 新規割当。画数が少なく「言+上」に似た形で覚えやすい。
13. solvent / 偿 /  
    　理由: 「偿还(返済)」「赔偿(賠償)」など「支払う・弁償する」ニュアンスを持つ。債務を支払える(=solvent)。  
    　学習コスト: 新規割当(やや画数多めだが、意味がはっきりしている)。
14. kvit / 完 /  
    　理由: 「完了する」「済む」「借りがない(支払い済)」ニュアンスをシンプルに表現。  
    　学習コスト: 新規割当。画数が少なく「元+宀」で覚えやすい。
15. kreditor / 贷 /  
    　理由: 「贷款(貸付)」「信贷(信用貸付)」などと関連が深い。貸す側=債権者。  
    　学習コスト: 新規割当。同じ金融系列の語根で再利用の可能性あり。
16. ŝuld / 欠 /  
    　理由: 「欠ける」「負債がある」「欠債」の“欠”。シンプルで「借りがある」イメージ。  
    　学習コスト: 新規割当。画数わずか4画。
17. debet / 借 /  
    　理由: 会計上の「借方(デビット)」を表す字。  
    　学習コスト: 新規割当。やや画数多めだが、借方・借入でイメージしやすい。
18. obligaci / 券 (※borsと同字再利用) /  
    　理由: 「債券」を表すため、すでに使用中の「券」を再利用(証券の一種)。  
    　学習コスト: 既出再利用。金融関連で一貫性がある。
19. prunt / 借 (※debetと同字再利用) /  
    　理由: 「借りる/貸す」を総称するため、「借」を再利用。  
    　学習コスト: 既出再利用。借金/貸借に共通するイメージを持たせる。
20. kredit / 贷 (※kreditorと同字再利用) /  
    　理由: 「信用貸し」「信用」自体にも「贷」が用いられる。  
    　学習コスト: 既出再利用。貸す側(kreditor)と信用(kredit)を同じ字に集約。
21. polis / 保 /  
    　理由: 「保険契約」のニュアンスを単字化。「保险」の「保」から連想。  
    　学習コスト: 新規割当。日本語「保険」ともつながりがありイメージしやすい。
22. kaŭci / 押 /  
    　理由: 「押金(デポジット)」「保釈金(保释)」を連想しやすい。抵当(抵押)の一部とも重なる字。  
    　学習コスト: 「抵押」(hipotek)で使った「押」を単独で再利用。
23. asekur / 保 (※polisと同字再利用) /  
    　理由: 「(に)保険をかける」行為。すでに保険関連で用いている「保」を共有。  
    　学習コスト: 既出再利用。保険分野の語根を「保」に集約。
24. garanti / 保 (※polis, asekurと同字再利用) /  
    　理由: 「保証(保证)」の主要字。「保」は「保障」「保証」「保険」など広義の“守る”を含む。  
    　学習コスト: 既出再利用。「保」で一括管理し学習負担を減らす。
25. bilanc
    * 表
    * 選定理由: 「貸借対照表(资产负债表)」の末字「表」を転用。日本語でも「表＝ひょう」として「一覧表・報告書」的なニュアンスが分かりやすい。
    * 学習コスト: 既出の他の漢字との重複利用は特になしだが、「表」は画数が少なく、日本語・中国語いずれにも馴染みがあるので妥当と判断。
26. kont
    * 账
    * 選定理由: 「帳(ちょう)」の簡体字であり、中国語で「账」は銀行口座や会計上の「勘定」を広く指す。
    * 学習コスト: 日本語話者にとっては簡体字「账」はやや初見かもしれないが、「帳」の簡体形だと理解すれば意味は取りやすい。
27. sald
    * 平
    * 選定理由: 「平」は「平衡(バランス)」のイメージを連想しやすく、中国語でも「结算（settle）」や「平账（口語的に“勘定を合わせる”）」などの表現で部分的に使われる。
    * 学習コスト: 画数が少なく、日本語では「平＝たいら」・中国語でも「平＝ピン(平ら)」で直感的。
28. klav
    * 键
    * 選定理由: 中国語で「键」はキーボードのキーやピアノの鍵盤を指す際に使う。日本語の「鍵(かぎ)」の簡体形でもあるため、「キー(鍵)」を連想しやすい。
    * 学習コスト: すでに「账」などと同じ「钅(かねへん)」偏旁を含むため、一部画数を共有可能。
29. fortepian
    * 大钢琴
    * 選定理由: 中国語で「グランドピアノ」は「大钢琴」が一般的表記。「大(だい)＋钢(鋼)＋琴(きん/こと)」で「grand piano」を明確に示せる。
    * 学習コスト: 「大」は画数が少なく既知の人も多い。「钢」「琴」は後述の楽器関連語でも繰り返し登場しうるため、一貫性がある。
30. pian
    * 钢琴
    * 選定理由: 中国語で「ピアノ」は「钢琴」が定訳。日本語でも「鋼(はがね)＋琴(こと)」のイメージで「ピアノ」と結びつきやすい。
    * 学習コスト: (5)と同じ「钢」「琴」を使用するため、一度覚えてしまえば他の派生にも利用しやすい。
31. violon
    * 小提琴
    * 選定理由: 中国語で「バイオリン」は「小提琴」が定番。日本語話者にも「小提琴＝バイオリン」の認識は比較的広まっている。
    * 学習コスト: 「小」「提」「琴」はいずれも基礎的な漢字。先の「钢琴」と「琴」を共有できる。
32. pantomim
    * 哑剧
    * 選定理由: 中国語では「哑剧」が「パントマイム」の訳語。日本語でも「“啞劇”＝セリフの無い劇」という連想はしやすい。
    * 学習コスト: 「哑(口へん＋亚)」はやや画数が多めだが、他に適当な1文字が無いため熟語で対応。
33. pulĉinel
    * 丑
    * 選定理由: 中国の伝統劇では道化役を「丑角」と呼ぶ。日本語でも「丑(醜の旧字/一部役柄名)」で「道化役」を連想可。
    * 学習コスト: 画数がわずかで、インパクトもあるため覚えやすい。
34. epilog

* 尾声
* 選定理由: 中国語で「尾声」は「終わりの部分、エピローグ」を指す。日本語でも「尾(お)＋声(こえ)」から「ラストの場面」の連想が可能。
* 学習コスト: 2文字だが画数は比較的少なめ。

1. prolog

* 序幕
* 選定理由: 中国語で「序幕」は「プロローグ」の意味。日本語の「序(じょ)」＋「幕(まく)」から開始部分をイメージしやすい。
* 学習コスト: 「幕」は劇関連用語で再利用の可能性あり。

1. melodram

* 情节剧
* 選定理由: 中国語で「メロドラマ」は「情节剧」と表現されることが多い。「情节(筋)＋剧(劇)」でストーリー重視の劇を連想。
* 学習コスト: 「剧」は(8)(9)など他の「劇」関連で繰り返し登場。

1. teatr

* 剧院
* 選定理由: 中国語で「劇場」は「剧院」。日本語でも「劇院(げきいん)」と読めば大意を掴みやすい。
* 学習コスト: 「剧」はすでに登場、さらに「院」も比較的よく使われる簡体字。

1. oper

* 歌剧
* 選定理由: 中国語で「オペラ」は「歌剧」。日本語でも「歌劇」と書けばオペラを指すのは分かりやすい。
* 学習コスト: (12)などと同じ「剧」を含むため、一貫した学習が可能。

1. final

* 终场
* 選定理由: 中国語で「終場（终场）」は「最終幕・フィナーレ」を指す言葉。日本語でも「終場(しゅうじょう)」の形で理解しやすい。
* 学習コスト: 「场」は後述(17)などでも出る。

1. parter

* 池座
* 選定理由: 中国語や劇場用語として「パルテール＝池座(stalls)」に対応する場合がある。日本語でも「池(いけ)＋座(ざ)」から「客席」を連想可能。
* 学習コスト: 2文字でシンプル、画数もそれほど多くない。

1. scen

* 场
* 選定理由: 中国語で「場面」を指すときの「场(場)」。日本語でも「場＝シーン」を十分連想できる。
* 学習コスト: 「场」は(15)の「终场」と共通。

1. kulis

* 幕后
* 選定理由: 中国語で「舞台裏、幕の後ろ」を「幕后」と言う。日本語でも「幕(まく)＋後(うしろ)」の感覚で把握しやすい。
* 学習コスト: 既出の「幕」と、基礎的な「后」を組み合わせた熟語なので理解しやすい。

1. loĝi

* 包厢
* 選定理由: 中国語で「(劇場の)桟敷席・ボックス席」は「包厢」。日本語でも「包(つつむ)＋厢(はしば)」で「個室空間」をイメージできる。
* 学習コスト: やや画数が多めだが、劇場の「ボックス席」を指すには適切。

1. suflor

* 提词
* 選定理由: 中国語で「提词」は舞台プロンプターの台詞提示や、テレプロンプター的な意味を含む。
* 学習コスト: 「提」は(7)「小提琴」とも重なる。「词」は「言葉」の意味で比較的初歩的。

1. mebl

* 家具
* 選定理由: 中国語でも日本語でも「家具」は一致しており、家具全般を直感的に示せる。
* 学習コスト: 2文字でシンプル、かつ日中共通語。

1. servic

* 餐具
* 選定理由: 中国語で「餐具」は「食器セット」を指す。日本語話者にも「餐＝食事」「具＝道具」のイメージで比較的理解しやすい。
* 学習コスト: 2文字だが画数はそこまで多くなく、実用度が高い表記。

1. sof

* 沙发
* 選定理由: 中国語でソファーは「沙发」。日本語でも「ソファ＝沙发(シャーファ)」と音から類推が効く。
* 学習コスト: 2文字だが、「沙(すな)＋发(はつ)」の組み合わせで、中国語固有の外来音訳語として定着。

1. fotel

* 扶手椅
* 選定理由: 中国語で「肘掛け椅子」は「扶手椅」が一般的(「安楽椅」などもあるが)。日本語でも「扶手＝ひじ掛け」「椅＝いす」の発想は理解可能。
* 学習コスト: 「椅」は椅子(いす)、「扶」「手」は常用字で比較的分かりやすい。

1. kanap

* 长椅
* 選定理由: 「長椅(長い椅子)」としてベンチやソファに近いニュアンスを伝えられる。中国語でも「长椅」はよく使われる表現。
* 学習コスト: 「长」「椅」はどちらも基礎的な字。

divan

* + 割当: 沙发
  + 理由: 現代中国語で「ソファ」を表す標準的な語。1文字では適切な簡体字が見つかりにくい。
  + 既出・学習コスト: 「沙(7画)」「发(5画)」はいずれも比較的基本的な簡体字。

1. seĝ
   * 割当: 椅
   * 理由: 「椅子(chair)」の主要字。中国語・日本語とも「椅子」の「椅」として比較的認知されやすい。
   * 既出・学習コスト: 新出だが、いす(椅子)という意味を推測しやすい。
2. benk
   * 割当: 凳
   * 理由: 中国語で「ベンチ・腰掛け」の意味をもつ「凳(dèng)」（板凳, 长凳など）。
   * 既出・学習コスト: 日本語では馴染みが薄いが、椅(いす)とは別に「ベンチ」を表す字として区別。
3. stabl
   * 割当: 台
   * 理由: 「仕事台」「作業台」「支持台」等のイメージ。中国語・日本語とも「台」は「台(だい)」として広く“台・机・ステージ”状のものを指せる。
   * 既出・学習コスト: 画数少なく(5画)、以後も「台」を多用して共通化を図る。
4. piedestal
   * 割当: 台座
   * 理由: 日本語の「台座」と同じ表記。中国語でも「台座(táizuò)」あるいは「底座」に近い意味で理解可能。
   * 既出・学習コスト: 「台」は既出。新出の「座」(10画)も日本語・中国語とも「座る」の連想がしやすい。
5. sokl
   * 割当: 台座
   * 理由: 「台座(=base, plinth)」の同義語。piedestal と同じく「彫像や柱の台座」。
   * 既出・学習コスト: piedestal と同一割当で重複利用。「台」「座」の合計2文字のみ。
6. katedr
   * 割当: 席
   * 理由: 「教授の座」「法王・司教の座」等の“権威ある席”というニュアンスを「席」で表現。
   * 既出・学習コスト: まだ出ていないが「席(10画)」は日本語・中国語とも「座席」の席として把握しやすい。
7. podi
   * 割当: 台
   * 理由: 「壇」「ひな壇」「ステージ」など広義の「台」としてまとめてしまう。
   * 既出・学習コスト: 既に登場した「台」で使い回し、学習コストを削減。
8. tribun
   * 割当: 台
   * 理由: 「演壇」「スピーカーの壇」も含め、ここでは一律「台」で統合。
   * 既出・学習コスト: 同上。「台」の再利用。
9. estrad

* 割当: 台
* 理由: 「壇」「舞台」「平台」の類義語なので、一括で「台」に統合して重複割当。
* 既出・学習コスト: 重複利用で学習負荷を軽減。

1. pupitr

* 割当: 机
* 理由: 「机(つくえ)」「机(デスク)」を示すのに、日中双方で比較的認知しやすい簡体字「机」を採用。
* 既出・学習コスト: 「机(6画)」は新出だが画数が少なく、「マシン」の意味(机器など)とも関連しやすい。

1. aŭditori

* 割当: 堂
* 理由: 「講堂」「礼堂」のイメージで、「堂」単体でも“ホール・大きい部屋”を示しうる。
* 既出・学習コスト: 新出だが、画数は6画と少なめ。日本語で「食堂」「講堂」などとも共通。

1. ĉarpent

* 割当: 匠
* 理由: 「大工仕事」「木工職人」のイメージを端的に示す字。「匠」は工芸や職人のニュアンス。
* 既出・学習コスト: 6画で比較的わかりやすい。日中双方で「匠＝職人」の印象は共有しやすい。

1. arĥitektur

* 割当: 建筑
* 理由: 中国語で「建筑」は「建築」に相当し、日中とも“建築(術)”の意味が通じる。
* 既出・学習コスト: 2文字合計17画(建8画+筑9画)だが、建築を示すには標準的。

1. arkitektur

* 割当: 建筑
* 理由: 「arĥitektur」と同義の綴りゆれ。同じ「建筑」として重複割当。
* 既出・学習コスト: 上に同じ。

1. arkitekt

* 割当: 建筑师
* 理由: 中国語で「建筑师」は「建築家(architect)」の定訳。
* 既出・学習コスト: 「建筑」は既出、新たに「师(6画)」を追加。

1. arĥitekt

* 割当: 建筑师
* 理由: 上と同義(建築家)なので同じ割当。
* 既出・学習コスト: 「建筑」「师」既出利用。

1. ŝtip

* 割当: 木片
* 理由: 「木片(= 木のかけら)」が最も分かりやすく、「丸太」「角材」のようなニュアンスを含みやすい。
* 既出・学習コスト: 「木」は今後も使い回し、「片(4画)」は新出だが画数は少なめ。

1. arb

* 割当: 树
* 理由: 中国語で「树(樹)」は“樹木”の意味。日本語話者にも「樹」の簡体字として比較的類推可能。
* 既出・学習コスト: 9画。「木」単体と区別して、“生きている樹木”の意を強調。

1. lign

* 割当: 木
* 理由: 「木材」の意味なら、シンプルに「木」が適切。日中とも基本字。
* 既出・学習コスト: 「木(4画)」は非常に初歩的で、学習負荷が低い。

1. bambu

* 割当: 竹
* 理由: 「竹(ちく)」は日中共通で“竹”のイメージが明瞭。
* 既出・学習コスト: 6画。

1. arbust

* 割当: 丛
* 理由: 中国語で「丛(cóng)」は草木が群がった状態を指し「灌木(低木)」に近いイメージ。
* 既出・学習コスト: 5画だが、日本語では旧字「叢」で少しギャップあり。単一字で低木を表す苦肉の策。

1. lat

* 割当: 板
* 理由: 「薄板」「木の細板」のニュアンスに最も近い単字として「板」を採用。
* 既出・学習コスト: 8画。「板」は日中で“板・板状のもの”と理解されやすい。

1. ŝind

* 割当: 木瓦
* 理由: 「こけら板(屋根材)」のような“木製の瓦”を直感的に示す仮表記。1文字で適当な字が乏しい。
* 既出・学習コスト: 「木」は既出、新出の「瓦(4画)」は屋根瓦の連想がしやすい。

1. parget

* 割当: 木地板
* 理由: 「寄木張り(パーケット)」＝「木製床板」の意味を中国語で一般に「木地板」「拼花地板」などと呼ぶ。
* 既出・学習コスト: 3文字だが「木(既出)」「地(6画)」「板(既出)」で、新出は「地」だけ。